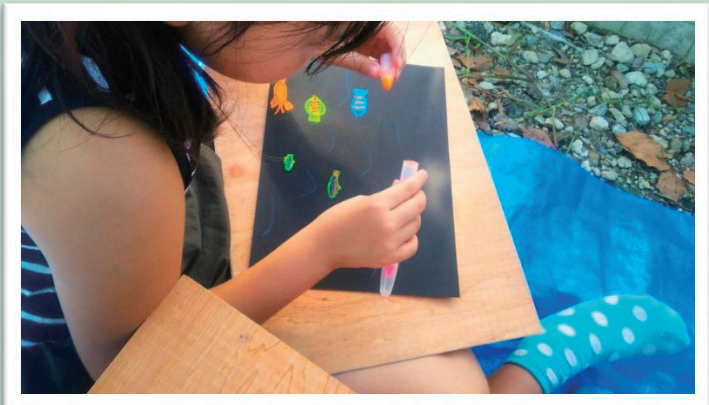


提案型協働事業

事例集

平成24年度～平成29年度

「こんなことができれば、姫路のまちがもっとよくなるのに」
その思い、姫路市と手を組んで実現する事業です。



姫路市(平成31年3月発行)

はじめに

姫路市では、市民一人ひとりが主役の市政という基本的な考えのもと、市民参画と協働のまちづくりを進めています。こうした取り組みの一つとして、地域社会の課題解決に向けた行政との協働事業である“姫路市提案型協働事業”を実施しています。

この事業は、市民活動団体の持つ特性を活かした市民サービスを提供するため、市民活動団体から協働事業の提案を募り、公益性や実効性を審査したうえで、採用団体に対して補助を行う事業です。

これまで、平成18年度のモデル実施及びその後の本格実施を経て、平成29年度末現在で延べ133件の提案があり、そのうち91件の事業を採択し、取り組みが行われました。

この度、これまでに蓄積されたノウハウなどを有効に活用し、地域社会の課題解決に向けて取り組んでいくため、過去に実施された取り組み（平成24年度から平成29年度まで）を紹介し、市民活動団体の活動の参考にしていただけるよう、事例集に取りまとめました。

市民活動団体をはじめ、多くの皆さんに活用いただければ幸いです。

目次

1 提案型協働事業の実施状況

■ 事業概要	2
平成24年度提案型協働事業の実施状況	3
平成25年度提案型協働事業の実施状況	4
平成26年度提案型協働事業の実施状況	5
平成27年度提案型協働事業の実施状況	6
平成28年度提案型協働事業の実施状況	7
平成29年度提案型協働事業の実施状況	8

2 各提案事業の概要

■ 平成24年度	
美しい夢前川と安全な通学路を子どもたちに！	12
地域再生プロジェクト	13
ひめじみやげプロジェクト	14
若者市民活動担い手（リーダー）育成事業	15
姫路藩に伝わる伝統武道の伝承 心豊かな人づくり	16
駅周辺駐輪対策を通じた 『まちづくり協働事業スタートアップモデル』構築事業	17
MOA美術館児童作品展	18
■ 平成25年度	
“見て・歩いて・感じて” 町家めぐり体験ツアー in 野里街道	19
妻鹿『軍師・官兵衛』観光推進事業	20
ママの働き方応援隊HAPPY☆プロジェクト～3S～	21
地域サロン ネットワーク作り	22
官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座とネットワーキング	23
『自転車走って楽しいまちづくり』スタートアップ事業	24
NPO・自治会連携モデル事業	25
■ 平成26年度	
赤ちゃん先生プロジェクト	26
夢街道 おもてなし事業	27
姫路城西エリア地域資源再発見プロジェクト	28
出前サロン講座と運営者のネットワーク作りとサポート	29
子どもたちに語ろう 継ごう…『置塩城』	30
■ 平成27年度	
夢街道 おもてなし事業 2016	31
『地域の支え合い体制』の基盤づくり事業	32

空いた園舎を活用した「地域社会福祉」の拠点づくり事業 ～『児童虐待防止』『認知症対策』に特化した子育て支援の地域活動～	33
ヴィジョンストリートダンスコンテスト2016	34
姫路城グランドオープン記念 姫路城からの帰り道、寄り道マップ (城南・船場・城西)とまちあるき	35
外国人観光客おもてなし英会話講座	36
見えないものが見えてくる親子養成講座	37
障がいの理解と障がい者スポーツ啓発事業	38

■ 平成28年度

地域の中で支え合う仕組みづくり	39
みんなで踊ろう！ダンスは心にも体にもいい	40
認知症になっても地域で暮らせるために、 地域の中で支え合う仕組みづくり	41
防災意識向上イベント	42
姫路のおもろいてんこもり！野里地区と秋祭りを世界へ発信	43
地域マネジメント モデル事業『城の西～水ものがたり』	44

■ 平成29年度

みんなで踊ろう！ダンスのWA！	45
地域協働による公園や広場的空間の整備・運営事業 『城の西パークマネジメント』	46
親子で楽しく学ぶ『ワクワク防災スクール』～まずは自助からはじめよう～	47
英語観光ボランティアガイド活動育成について	48
わがまち太市の未来予想図	49
総合的な学習の時間を活用した地域のネットワークづくり事業	50
観光レンタサイクル事業	51
～認知症になっても地域で暮らせるために～ 地域の中で支え合う仕組みづくり推進事業	52
不登校・ひきこもりに関する支援ネットワークマップ作成事業	53
地域資源を整備し、揖保川に再びホテルを飛ばそう	54
姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	55
育て！『播州魂』～姫路の伝統文化 獅子舞とのふれあい～	56
姫路城下(船場・城西)江戸を歩く 明治を歩く	57
船場川・船場川ピオトープの活用2017	58

3 索引

実施団体別事業名索引	60
テーマ別事業名索引	61

1

提案型協働事業 実施状況

- 事業概要
- 各年度の提案型協働事業の実施状況

(平成24年度～平成29年度)

事業概要

1 提案型協働事業とは

姫路市では、市民一人ひとりが主役の市政という基本的な考えのもと、市民参画と協働のまちづくりを進めています。こうした取り組みの一つとして、地域や社会の課題解決に向けた行政との協働事業を、市民の視点から、市民活動団体の皆さんに提案していただき、市民ニーズや社会的課題に沿ったものであるか、公益性が高いものであるか、事業計画の実行性・事業効果・先駆性があるか、等について評価を行い客観的に審査し、その事業の対象経費について補助を実施するものです。

「こんなことができれば、姫路のまちがもっとよくなるのに」

その思い、姫路市と手を組んで実現する事業です。

2 事業の枠組み

(1) 助成対象事業

姫路市の様々な分野における社会的及び地域的な課題の解決に取り組む事業で次に掲げるもののうち、市長が適当と認めた事業

①テーマ設定事業

姫路市が設定したテーマに基づき、助成対象団体が提案した事業

②自由テーマ事業

助成対象団体が自由なテーマで提案した事業

③市民活動講座事業（～平成24年度）

市民公益活動の知識の取得や参加の促進を目的としたテーマに基づき、助成対象団体が提案した事業

④地域資源活用事業（平成29年度～）

旧地域夢プラン事業の継承事業として、本市における地域の歴史、文化、自然等の資源（地域資源）の価値を改めて見直し、地域資源を活用して当該地域の魅力を高めること又は地域資源を未来に継承することを目的とした事業

(2) 助成対象団体

姫路市内に活動拠点を有する次のいずれかに該当する団体

①不特定多数の利益の増進を目的とする公益活動を行う非営利の団体

②特定非営利活動法人（NPO法人）

③前2号に掲げる団体の共同体

(3) 助成対象経費

助成対象事業に要する経費のうち市長が必要と認める経費に相当する額

（助成限度額） 50万円

※事業に要する経費は10万円以上であることとする。

(4) 募集・審査等

募集：毎年4月中旬から5月下旬に実施

※事前に協働する関係課と調整が必要

審査：審査会において事業提案説明会（プレゼンテーション）を行い、委員の意見を踏まえ、市長が事業認定を行う

平成24年度提案型協働事業の実施状況

1 実施状況

(1) 事業募集

① 募集期間 平成24年4月23日（月）～5月25日（金）

② 応募件数 8件

（内訳）テーマ設定事業：まちなか賑わい創出1件、市民活動の担い手育成2件

自由テーマ事業：5件

(2) 第1次審査（書類審査）

書類の不備等について事務局が審査。審査通過件数 8件

(3) 第2次審査（プレゼンテーションによる審査）

企画提案会の概要

【開催日時】平成24年6月10日（日）13：00～

【会場】姫路市役所北別館 3階 講義室

【参加団体】上記第1次審査通過団体

【審査委員】姫路市提案型協働事業審査会委員 3名

2 実施事業

7件

（内訳）テーマ設定事業：2件（まちなか1件、市民活動1件）

自由テーマ事業：5件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載ページ
1	自由	美しい夢前川と安全な通学路を子どもたちに！	八幡小学校120周年記念事業委員会	12
2	自由	地域再生プロジェクト	(特)はなのいえ	13
3	まちなか	ひめじみやげプロジェクト	ひめじ手づくりてんこもり市実行委員会	14
4	市民活動	若者市民活動担い手（リーダー）育成事業	(特)コムサロン21	15
5	自由	姫路藩に伝わる伝統武道の伝承心豊かな人づくり	姫路古武道連盟	16
6	自由	駅周辺駐輪対策を通じた『まちづくり協働事業スタートアップモデル』構築事業	(特)スローソサエティ協会	17
7	自由	MOA美術館児童作品展	MOA美術館姫路児童作品展実行委員会	18

平成25年度提案型協働事業の実施状況

1 実施状況

(1) 事業募集

① 募集期間 平成25年4月15日（月）～5月17日（金）

② 応募件数 12件

（内訳） テーマ設定事業：7件（城下町の再生1件、観光の推進4件、市民共治の実現2件）
自由テーマ事業：5件

(2) 第1次審査（書類審査）

書類の不備等について事務局が審査。 審査通過件数 12件

(3) 第2次審査（プレゼンテーションによる審査）

企画提案会の概要

【開催日時】 平成25年6月8日（土）12：30～

【会場】 姫路市市民会館 5階 第2教室

【参加団体】 上記第1次審査通過団体

【審査委員】 姫路市提案型協働事業審査会委員 3名

2 実施事業

7件

（内訳） テーマ設定事業：4件（城下町再生1件、観光の推進1件、市民共治2件）
自由テーマ事業：3件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
1	城下町 再生	“見て・歩いて・感じて” 町家めぐり体験ツアーin 野里街道	(特)野里まちづくりの会	19
2	観光の 推進	妻鹿『軍師・官兵衛』観光推進事業	妻鹿「軍師・官兵衛」観光推進委員会	20
3	自由	ママの働き方応援隊 HAPPY☆プロジェクト～3S～	HAPPY☆STYLE	21
4	自由	地域サロン ネットワーク作り	(特)はなのいえ	22
5	市民 共治	官民連携のための実践型まちづくり 人材養成講座とネットワーキング	(特)スローソサエティ協会	23
6	自由	『自転車で走って楽しいまちづくり』スタートアップ事業	姫路駅前広場活用協議会	24
7	市民 共治	NPO・自治会連携モデル事業	(認定)コムサロン21	25

平成26年度提案型協働事業の実施状況

1 実施状況

(1) 事業募集

① 募集期間 平成26年4月7日(月)～5月14日(水)

② 応募件数 7件

(内訳) テーマ設定事業：3件(世界遺産姫路城マラソンの支援1件、観光客の誘致0件、地域コミュニティの活性2件)

自由テーマ事業：4件

(2) 第1次審査(書類審査)

書類の不備等について事務局が審査。 審査通過件数 7件

(3) 第2次審査(プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査)

提案発表会の概要

【開催日時】 平成26年5月24日(土) 13:00～

【会場】 姫路市市民会館 4階 第6会議室

【参加団体】 上記第1次審査通過団体

【評価委員】 姫路市提案型協働事業評価会評価員 4名

2 実施事業

6件 ※1件は事業中止

(内訳) テーマ設定事業：3件(マラソン1件、観光客誘致0件、地域コミュ2件)

自由テーマ事業：3件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
1	自由	赤ちゃん先生プロジェクト	HAPPY☆STYLE	26
2	マラソン	夢街道 おもてなし事業	置塩城おもてなし隊	27
3	地域コミュ	姫路城西エリア地域資源再発見プロジェクト	(認定)コムサロン21	28
4	自由	出前サロン講座と運営者のネットワーク作りとサポート	(特)はなのいえ	29
5	自由	子どもたちに語ろう 継ごう…『置塩城』	(特)おはなしくれよん	30

平成27年度提案型協働事業の実施状況

1 実施状況

(1) 事業募集

① 募集期間 平成27年4月13日(月)～5月19日(火)

② 応募件数 14件

(内訳) テーマ設定事業：6件(観光客受入体制の充実3件、子どもの多様な感性を育む創造的事業2件、文化芸術に触れる機会の充実1件)

自由テーマ事業：8件

(2) 第1次審査(書類審査)

書類の不備等について事務局が審査。 審査通過件数 14件

(3) 第2次審査(プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査)

提案発表会の概要

【開催日時】 平成27年5月31日(日) 11:15～

【会場】 姫路市市民会館 4階 第6会議室

【参加団体】 上記第1次審査通過団体

【評価委員】 姫路市提案型協働事業評価会評価員 4名

2 実施事業

8件

(内訳) テーマ設定事業：4件(観光2件、子ども1件、文化1件)

自由テーマ事業：4件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
1	自由	夢街道 おもてなし事業 2016	置塩城おもてなし隊	31
2	自由	『地域の支え合い体制』の基盤づくり事業	(特)はなのいえ	32
3	自由	空いた園舎を利活用した『地域社会福祉』の拠点づくり事業～『児童虐待防止』『認知症対策』に特化した子育て支援の地域活動～	(特)ハッピーキッズひがし	33
4	文化	ヴィジョンストリートダンスコンテスト 2016	B.S.D.A 播州ストリートダンス協会	34
5	観光	姫路城グランドオープン記念 姫路城からの帰り道、寄り道マップ(城南・船場・城西)とまちあるき	(特)歴史と出会えるまちづくり船場城西の会	35
6	観光	外国人観光客おもてなし英会話講座	(特)日本ハンズ	36
7	子ども	見えないものが見えてくる親子養成講座	(特)スローソサエティ協会	37
8	自由	障がいの理解と障がい者スポーツ啓発事業	チームWeB	38

平成28年度提案型協働事業の実施状況

1 実施状況

(1) 事業募集

① 募集期間 平成28年4月11日（月）～5月20日（金）

② 応募件数 7件

（内訳） テーマ設定事業：2件（姫路城プラスワンに関する事業1件、地縁系団体と志縁系団体による協働事業1件）

自由テーマ事業：5件

(2) 第1次審査（書類審査）

書類の不備等について事務局が審査。 審査通過件数 7件

(3) 第2次審査（プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査）

提案発表会の概要

【開催日時】 平成28年6月5日（日）13：00～

【会場】 姫路市市民会館 4階 第6会議室

【参加団体】 上記第1次審査通過団体

【評価委員】 姫路市提案型協働事業評価会評価員 4名

2 実施事業

6件

（内訳） テーマ設定事業：2件（姫路城1件、地縁1件）

自由テーマ事業：4件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
1	地縁	地域の力で地域史料を保存継承する	香寺歴史研究会	39
2	自由	みんなで踊ろう！ダンスは心にも体にもいい	播州ストリートダンス協会	40
3	自由	認知症になっても地域で暮らせるために、地域の中で支え合う仕組みづくり	(特)はなのいえ	41
4	自由	防災意識向上イベント	姫路おかんプロジェクト	42
5	姫路城	姫路のおもしろいをてんこもり！野里地区と秋祭りを世界へ発信	ひめじ手づくりてんこもり市	43
6	自由	地域マネジメントモデル事業『城の西～水ものがたり』	(特)スローソサエティ協会	44

平成29年度提案型協働事業の実施状況

1 実施状況

(1) 事業募集

① 募集期間 平成29年4月17日(月)～5月22日(月)

② 応募件数 17件

(内訳) テーマ設定事業：3件(姫路モノレールを活用した観光客の回遊性向上を図る事業2件 地域と考える公園の利用方策モデル事業1件)

自由テーマ事業：9件

地域資源活用事業：5件

(2) 第1次審査(書類審査)

書類の不備等について事務局が審査。 審査通過件数 17件

(3) 第2次審査(プレゼンテーションによる評価結果を参考に審査)

提案発表会の概要

【開催日時】 平成29年6月25日(日) 10:00～

【会場】 姫路市役所北別館 3階 講義室

【参加団体】 上記第1次審査通過団体

【評価委員】 姫路市提案型協働事業評価会評価員 5名

2 実施事業

15件 ※1件は事業中止

(内訳) テーマ設定事業：1件(公園利用1件)

自由テーマ事業：9件

地域資源活用事業：5件

	テーマ	提案事業名	提案団体	掲載頁
1	自由	みんなで踊ろう!ダンスのWA!	播州ストリートダンス協会	45
2	公園 利用	地域協働による公園や広場的空間の整備・運営事業『城の西パークマネジメント』	城の西パークマネジメント協議会	46
3	自由	親子で楽しく学ぶ『ワクワク防災スクール』～まずは自助から始めよう～	ひめじキッズスマイル	47
4	自由	英語観光ボランティアガイド活動育成について	アイガイドナビグループ	48
5	自由	わがまち太市の未来予想図	(特)姫路コンベンションサポート	49

6	自由	総合的な学習の時間を活用した地域のネットワークづくり事業	納屋工房コミュニティスペース	50
7	自由	観光レンタサイクル事業	(特)あぼしまちコミュニケーション	51
8	自由	～認知症になっても地域で暮らせるために～地域の中で支え合う仕組みづくり推進事業	(特)はなのいえ	52
9	自由	不登校・ひきこもりに関する支援ネットワークマップ作成事業	(認定)コムサロン21	53
10	地域資源	地域資源を整備し、揖保川にホテルを飛ばそう	余部地区環境を守る会	54
11	地域資源	姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	姫路ジャコウアゲハ倶楽部	55
12	地域資源	育て！『播州魂』～姫路の伝統文化 獅子舞とのふれあい～	姫路城の北獅子の会	56
13	地域資源	姫路城下（船場・城西）江戸を歩く 明治を歩く	(特)歴史と出会えるまちづくり船場城西の会	57
14	地域資源	船場川・船場川ビオトープの活用2017	水上夢倶楽部	58

2

各提案事業の概要



美しい夢前川と安全な通学路を子どもたちに！

実施団体 八幡小学校120周年記念事業委員会
市の協働部署 建設局 道路部 道路管理課
教育委員会 学校教育部 学校指導課、学事・保健課

■ 事業の目的

小学校・中学校の通学路を安全かつ美しくするために行う。

■ 期待される効果又は達成目標

地域住民（保護者）と共に、中学生と一緒に活動することで、環境浄化と事業達成感を参加者で体得する。公共物を大切にすることを参加者に届ける。また、姫路市を縦断する夢前川の他の地域への環境浄化活動の波及と啓発を図る。

■ 事業概要

地域住民の方々の健康促進のためのウォーキングや、小学校児童、中学校生徒の通学路として、様々な方に日々利用されている夢前川沿いのサイクリングロードで、近年目立つガードレールのサビなどによる汚損について、約700mに渡りガードレールのペンキ塗り直し作業や周辺草刈りを小学校児童、中学校生徒、中学校生徒の保護者及び地域の各種団体の方々と実施し、美しく安全な通学路を確保するとともに環境浄化と事業達成感の体得、公共物を大切にすることを参加者に届ける。

■ 事業総括・感想

見た目にもキレイになり、また、作業中に散歩をしている方々より、「きれいにしてくれるんやね」と声をかけていただき、児童・生徒ともに達成感を味わうことができたと思う。
ペンキ塗り完了後に、隣接の自治会より、同様にペンキ塗りの協力依頼があり、啓発効果も見られた。



地 域 再 生 プ ロ ジ ェ ク ト

実施団体 特定非営利活動法人 はなのいえ
 市の協働部署 市民局 生涯現役推進部 生きがい推進課
 市民局 市民参画部 市民活動推進課

■ 事業の目的

核家族化・少子高齢化などが進み、地域での交流が少なくなったことにより課題に対応するため、かつて存在していた地域交流（井戸端会議）の場所を、市民の手でもう一度作りあげていく仕組みづくりを行うことによって、子育て・障がい者・高齢者に対する支援を同時に行うことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

市民の手で作る地域交流の場＝地域サロンは、市民のボランティアによって支えられるコミュニティである。この地域サロンの必要性を理解し、サロンの立ち上げのノウハウを幅広く市民の皆さんに広めていくことで、それぞれに必要な場所を作ることができるようになる。子育て中のお母さんに相談支援の場所を、障がい者には居場所を、高齢者には活性化する場所を、定年退職者には生きがいを見出す場所を、ニートやフリーターには社会へのきっかけ作りの場所となるなど、それぞれに今自分が必要とする場所を発掘し確保することができる。同時に公的な制度を必要としない人が増え、行政の負担軽減にもつながる。

■ 事業概要

11回にわたる打ち合わせの中で、地域サロンが姫路でも普及し、希薄になりつつある地域のつながりが出来ていくことを目指すため「地域サロン」のことがわかるDVDを作成し、各所に配布した。

■ 事業総括・感想

「地域サロン」のことがわかるDVDを制作するにあたり、単なる紹介ビデオとならぬよう、いかに「地域のつながり」や「地域作り」の大切さを知らない人に伝えることができるかが重要であり課題であった。これまで市外で行われてきた地域サロンで、なかなか落とし込まれてこなかった部分だと思う。試行錯誤した結果、DVDの中で紙芝居というツールを使うことで、見る人に「伝えたいこと」と「知ってもらいたいこと」を区別することができるのではないかと考えた。また、デザインやナレーションにはDVDを見る人にしっかりと表現できる方に依頼したかったのでこだわって専門家をお願いした。今回の関係者のすべての方が、協力してくれたことで大変いいものになったと思う。また、出演してくださった地域の方々にも喜んでいただけるDVDになったことは本当に良かったと思っている。

試写会では、これまで「地域サロン」を知らなかった方々も参加していただき、「分かり易かった」「こんなところがあったらいいと思う」などの意見もいただくことができたので本当に良かったと思っている。これからこのDVDを使用して、姫路に新たな「地域サロン」を普及啓発していき、地域のつながりができていくことを進めていきたいと思っている。



ひめじみやげプロジェクト

実施団体 ひめじ手づくりてんこもり市実行委員会
市の協働部署 農政経済局 商工部 産業振興課

■ 事業の目的

- ・作家やアーティスト、また市民のための表現の場を創出する
- ・上記3者と市内の業者さんとの連携をはかり、創造を通じて姫路の活性化を図る。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・作家やアーティストの技術や視点で姫路と姫路の地場産業を違う角度から切り取り、姫路の魅力を引き出す。
- ・この機会を通じて市内の業者さんと作家の出会いを創出するきっかけにする
- ・上記2点により、市民全体による地域活性化につなげる

■ 事業概要

姫路の名産品であるアーモンドバターのパッケージデザインについて、ひめじみやげプロジェクト「パッケージをつくろう」と題して2日間、2回にわたりワークショップを開催し、まちの魅力や作り手の思いを表現する手法を学んだ。

開催8年目を迎える「ひめじ手づくりてんこもり市」と同日に近隣会場で開催した「ひめじみやげ展覧会」で前述のワークショップ参加者が製作した作品や公募で集めた「アーモンドバターと家島の特産品のパッケージ」を展示し、姫路のみやげものの可能性を紹介した。

■ 事業総括・感想

家島と姫路をテーマに、「新しいみやげものの可能性」を姫路はもとより大阪、西宮の参加者とともに考え製作。姫路編は姫路の朝の顔として定着しており、テレビにも取りあげられたことで有名になったが、お土産としては十分ではない包装の「アーモンドバター」と、家島編では家島の海産物をテーマに実施した。アーモンドバター編は2回実施し、その作品を11月の文化の日にひめじ手づくりてんこもり市とともに実施した。

また、姫路編のアーモンドバターについては2回実施し、1回目はパッケージ自体を、また2回目は製作はもちろん、参加者からアーモンドバターを使っのまちなかの活性化のアイデアも出され、面白い結果となった。



若者市民活動担い手（リーダー）育成事業

実施団体 特定非営利活動法人 コムサロン21
市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動・ボランティアサポートセンター

■ 事業の目的

市民活動の担い手（リーダー）育成をする。そして、その担い手（リーダー）が将来、地域企業・NPO等の地域社会に出て活躍できるよう彼らのネットワークづくりをサポートする。

■ 期待される効果又は達成目標

プログラムの参加者のうち、4名が継続して地域活動に参加するなど、市民活動の新たな担い手の発掘ができ、彼らの今後の地域活動におけるスムーズな受け入れ体制ができた。

市民活動に興味のある若者を中間支援団体であるコムサロン21が窓口となり若者の市民活動の参加をサポートする体制ができた。

参加者のうち、姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターの「ひめじおんまつり」にボランティアでの参加を希望した方がおり、姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターと若者をつなぐことができた。

若者がプログラム参加を通して個人の活動意欲を高めることができ、結果5名の進路決定があった。

■ 事業概要

市民活動の新たな担い手を発掘するとともに、担い手を育成するために5回構成のプログラムを実施した。プログラムは「市民活動の担い手には、人的なネットワークを構築する力が必要」という事をテーマに取り組んだ。市民活動に対する知識の習得や地域イベントへの参加を通して、若者が地域社会の中で新たな人とのつながりをつくる機会を持ち、彼らが地域にとって魅力ある人材になる事を目的として行った。

■ 事業総括・感想

「市民活動の担い手には、人的なネットワークを構築する力が必要」というテーマでプログラムを行ったが、参加者の多くが市民活動を通じて人と出会う中で他人とのコミュニケーションについての課題を感じていた。このプログラムで、参加者が自分の中にある課題を発見し、解決しようとするきっかけを与えられたらと思う。このことは団体側としても、今後の市民活動の担い手育成事業を行う上でのヒントを得られたのではないかと思う。また、第2回目の講座の中で、参加活動団体をその場で選択してもらい、活動につなげたことで、各参加者への連絡調整に手間取ることなく、スムーズに受け入れを行うことができた。プログラムの日程については参加者が参加しやすいよう工夫することや、大学生が参加しやすい仕組みを構築することなど大学との連携が課題である。



姫路藩に伝わる伝統武道の伝承 心豊かな人づくり

実施団体 姫路古武道連盟
市の協働部署 農政経済局 観光交流推進室

■ 事業の目的

会員（武道家）相互の親睦と協調を図り、日本古来よりの伝統武道を継承し、健全な青少年の育成に努める。市事業と協働することにより誘客に努める。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・市民の皆様の身近に、武道、日本古来の文化を感じてもらうこと
- ・日本古来の文化の継承者を、育て、礼儀正しい人身を育成すること。
- ・姫路市に観光事業とタイアップすることにより、古武道の意義などを大きくアピールすることができ、今後の継承に繋げていけること
- ・姫路市の観光振興に寄与すること

■ 事業概要

姫路城大天守修理見学施設「天空の白鷺」への集客対策として、11月に姫路城三の丸広場で開催される「姫路城物語」の会場において、市民・観光客等に対し姫路に長期間継承されている古武道の演武を行うことにより、誘客につなげると共に市と協働することで古武道の歴史、意義などを大きくアピールし、今後の継承に生かされていくことに期待する。

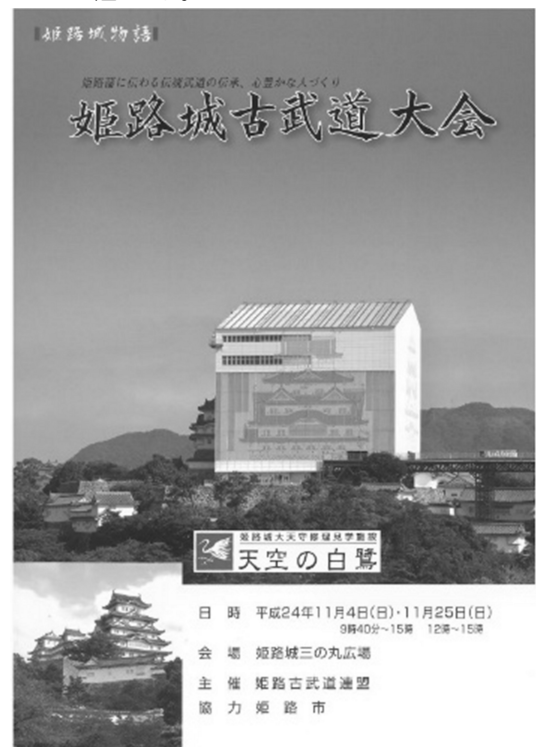
■ 事業総括・感想

屋外による催しであったため、2日間天候に恵まれたことが、今大会の成功の一因だったと思う。市と協働事業という初めての体験であって、観光推進室の指導を仰ぎながら終えることができた。そびえ立つ「天空の白鷺」をバックに、紅白の幕に囲まれた特設演武場での演武は、演武者、特に子どもたちにとっては良き思い出に残るものと思える。

当初、武道の体験コーナーを設けて、来場のお客様に実体験をして頂くブースを設けていろいろ誘ってみたが、城内のお客様は観光がメインということもあって、積極的な参加がいただけなかったが、2回目になり、積極的に声かけし、参加したお客様が手ほどきを受けると武士道精神に火がとまり、大いに盛り上がった。

1日目の反省から、2日目はお客様に積極的に声をかけ、半強制的に？誘いもしました。

その結果、太鼓を叩く人、居合刀を抜く人、柔術、空手の技を教わる人、棒を振る人等大いににぎわいました。今後も武道を身近に感じていただく方策を検討していきたい。



駅周辺駐輪対策を通じた「まちづくり協働事業スタートアップモデル」構築事業

実施団体 特定非営利活動法人 スローソサエティ協会
市の協働部署 建設局 建設総務部 建設総務課

■ 事業の目的

行政サービスのなかで、とりわけまちづくりの分野は行政主導ではなく、市民や関係者との協議による計画や実施が有効である。しかし、そのための手順は明確ではなく、立ち上げ時には行政の直接的な予算措置も取りにくい。そこで、これから新たな段階に入る駅周辺の自転車駐輪対策事業をモデルに、行政と地域住民、商業者や来街者による協働の駐輪スペースづくりをスタートさせ、そのための場づくり、協働の仕組みづくりを実証的にすすめる。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・当該事業の関係者が明確になり、行政の基本構想や基本計画づくりから市民参画ができる。
- ・関係者に必要な知識が身につくとともに、当事者意識が高まる。
- ・行政からの予算措置や補助金が得られやすくなる。
- ・事業の立ち上げ後の運営にも協働スタイルをとることができる。
- ・行政職員、市民など関係者のまちづくりのスキルが向上する。
- ・まちづくり分野における協働事業のスタートアップモデルを構築する。

■ 事業概要

課題解決のためのスタートアップ組織「駅前自転車利便促進ネットワーク会議」を立ち上げ、2月までに3回開催。この内容を地域団体や商業者へ広報紙で配布し、課題意識を共有。自転車利用や駐輪問題に関心の深い市民・商業者や行政関連部局へ今年度の取組の成果をフィードバックする「自転車のまちづくり☆ミニフォーラム」を3月に開催した。

■ 事業総括・感想

課題解決のためのスタートアップ組織「駅前自転車利便促進ネットワーク会議」を立ち上げ、会議を開催したり、市主催の協議会が開催されたり、関係する協議会で専門家を招いたセミナーをコーディネートするなど、それぞれが連携した取り組みを進めてきた中で、

1. 関係者を明確にする
2. 協働できる場をもうける
3. 前提となる知識を身につける
4. 課題を整理する
5. 当事者意識を向上させる
6. 実現すべきビジョンを共有する
7. 専門家により方向付けを行う

という官民協働の事業モデルを構築、実践することができた。



M O A 美術館 児 童 作 品 展

実施団体 MOA美術館姫路児童作品展実行委員会
市の協働部署 教育委員会 学校教育部 学校指導課

■ 事業の目的

静岡県熱海市にあるMOA美術館の地域活動として、姫路市内で開催する「地方展」を統括し、実施方法、実施期間などを同美術館と連携・調整するとともに、地域の社会教育ならびに情操教育の一環として、次の世代を担う子ども（小学生）たちの絵画と書写による創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心豊かな人間形成」を担うことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- 作品展を通して、美術教育に情熱をもった人材の意を汲み、過去の受賞者、出品者へ共に作品展づくりを呼びかけ、次の世代を担う人材輩出、育成を図る。
- 児童作品展を単なる展示会として終わらせず、ボランティアの特技を活かし、来場者へ文化、芸術の世界を広く知り、体験する場を、新たに設ける予定。具体的には、いけばな体験、茶の湯体験、工作体験、音楽など
- 児童の作品（絵、書）を見て、感動や癒しを得ることが心の健康にも大きく繋がることから、市内の医療機関で巡回展を開催し、そこに関わる家族やボランティア、そして作品を鑑賞する方々の健康増進に寄与する。

■ 事業概要

子ども（小学生）たちの絵画と書写による創作作品を広く公募し、コンクール形式と展示発表、表彰を行い、文化力育成および強化を図る。また、児童の作品を見て感動や癒しを得ることが心の健康にも大きく繋がることから、市内の医療機関で巡回展を開催し、関わる家族やボランティア、そして作品を鑑賞する方々の健康増進に寄与する。

■ 事業総括・感想

7会場で巡回展をさせていただきましたが、各会場とも作品を見られた方や、病院側からも大好評で、大変癒されたとの反響をいただきました。そして来年度も是非お願いしたいとの要望をいただいております。



“見て・歩いて・感じて” 町家めぐり体験ツアー in 野里街道

実施団体 特定非営利活動法人 野里まちづくりの会
市の協働部署 都市局 まちづくり推進部 まちづくり指導課

■ 事業の目的

寺社や町家等の歴史的建造物が多く、城下町の風情を残した野里街道の町並みを多くの人に実際に“見て・歩いて・感じて”もらい、野里街道地区が持つ魅力・価値を広くアピールすることで、歴史的な景観やまちづくりに対する関心を高めることを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・地域住民による町並み説明や市の事業紹介等、官民が連携して町並みや町家の魅力について興味を促すことにより、野里街道地区の魅力をアピールすることができる。
- ・実際にまち歩きをすることで、直に魅力を感じてもらい、姫路城の周辺にも魅力的で楽しいポイントがあることを広く知ってもらうことができる。
- ・今回約60名という大規模なまち歩きを体験して得た時間配分やイベント内容などの貴重な経験を活かし、野里の景観、まちづくりを広くアピールする大きなイベントの柱としていきたい。

■ 事業概要

“見て・歩いて・感じて” 町家めぐり体験ツアー in 野里街道の開催

- ・スタンプラリー形式のまち歩き
- ・町家修繕体験会（壁塗り体験、大作業体験）
- ・姫路市による「街並み環境整備事業」の事例紹介

■ 事業総括・感想

老若男女、西は倉敷、東は西宮から総勢58名に参加いただいた。壁塗り等の体験や町家の見学により、野里街道の持つ魅力・価値をアピールすることができた。また、姫路市の「街並み環境整備事業」を現地で見ながら、説明を受けたことで姫路市の取り組みも感じてもらえたと思う。ガイドやサポート役の会員も地元に対する認識を新たにこれからの活動に取り組むことができると思う。今回の事業を通じて地域の魅力をアピールするのは、実際に町を歩くことが一番の方法であると再認識した。

見て・歩いて・感じて。町家めぐりを楽しみませんか？
in 野里街道 スタンプラリー

11/24 小雨決行
⑨AM9:00~PM1:00

受付は、午前8時30分から野里公民館前です。
（スタンプラリー・スタンプ用紙は受付後にお渡しします）

【A班コース】町家体験会から始めます。
◆①齊田向家で体験会→壁塗り→②田舎会→③慶雲寺→④大野邸→尾張屋→⑤魚喰呉服店→⑥節東大教会でゴールとなります。

【B班コース】町家めぐりから始めます。
◆①魚喰呉服店→尾張屋→②大野邸→③慶雲寺→④田舎会→⑤齊田向家で体験会→⑥節東大教会でゴールとなります。

【齊田向家で町家体験会】企画・運営/日本工科大学校
◆壁塗り体験…土壁中塗り（パネル）3程度体験。（兵庫県建設業労務協会が指導）
◆大作業体験…かんなか、のこぎりひき体験。（姫路建設組合が指導）

【ゴールの節東大教会で歴史的町並み整備の紹介】
◆姫路市役所・まちづくり指導課による歴史的町並み整備の紹介があります。
※各指定の場所でスタンプを押してもらってください。

町家めぐり参加者募集 <コースの別が別には、野里まちづくりの会事務局はききまわしセンターへ>
募集日/8/30日（募集多数の場合は追加募集/A・B班に分かれて/小学5年生以上・小学生保護者同乗）
募集時間/無料、申し込みは、11月14日（日）まで【町家めぐり】と検索のうえ、11/14日（日）まで、
電子メールにて代表者と参加費の住所、氏名、電話番号、年齢を明記して募集申込書をお申し込み下さい。
※野里公民館 〒670-0813 姫路市野里東町9-10 電・FAX 079-282-9796
電子メール/nc22st@nifty.net, city.himeji.hyogo.jp

■お問い合わせは「野里まちづくりの会」事務局までご連絡ください。TEL 090-9043-5130

妻鹿『軍師・官兵衛』観光推進事業

実施団体 妻鹿『軍師・官兵衛』観光推進委員会
市の協働部署 産業局 観光交流推進室

■ 事業の目的

NHK 大河ドラマ『軍師・官兵衛』放映を契機に黒田官兵衛を通じての妻鹿町内の観光推進を促進する。

■ 期待される効果又は達成目標

ドラマ放映による『軍師・官兵衛』効果で観光客が増えることが想定されることから、妻鹿町内の案内看板やマップを作成することにより、妻鹿町内の歴史的建造物や妻鹿まつりの良さを知ってもらうことができる。

■ 事業概要

- 7月7日 黒田24将の一人、妻鹿町出身の母里太兵衛の記念碑序幕
- 7月27日 第2回「軍師・官兵衛」講演会を開催
- 9月22日 ボランティアによる関係個所の清掃活動実施
- 10月26日 ボランティアガイド任命式及び研修会の実施
- 11月16日 第3回「軍師・官兵衛」講演会を開催
- 1月19日 ボランティアによる国府山城跡・山道の危険箇所点検・整備活動実施
- 3月14日 ボランティアによる観光客用駐車場整備実施

■ 事業総括・感想

妻鹿町には、国府山城跡、荒神社、黒田職隆廟所など、黒田官兵衛ゆかりの地が多数あり、官兵衛を通じた妻鹿町内の観光推進事業を促進するという目的は、現在のところ当初目標の観光客数をはるかに上回るペースで推移している。

平成31年の今も大阪等遠方からも観光客が訪れている。



ママの働き方応援隊HAPPY☆プロジェクト～3S～

実施団体 HAPPY☆STYLE

市の協働部署 市民局 市民参画部 男女共同参画推進課（男女共同参画推進センター）

■ 事業の目的

現役ママだからこそサポートできることをしながら、人と人をつなげ、広がるコミュニケーションの中で、プレママもママも自分に自信をもって、いきいきと子育てできるようになるとともに、新しい働き方を発信し、子育て中がメリットになる働きかたを作ることを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・プレママの産前・産後うつ予防、産前・産後の不安解消
- ・赤ちゃんのことを産前に知ること、虐待防止につながる
- ・新しい出会い・情報交換で孤独な育児からの脱却
- ・子育て中にしかできないことをすることによって、育児にも自分にも自身が持てる
- ・いろんな働きかたの提案・発信

■ 事業概要

プレママ対象の体験講座等を開催（全8回）

第1回「リアルな出産体験談」

第5回「安全な食品セミナー」

第2回「役立つマナー講座」

第6回「おっぱいケア」

第3回「ベビーマッサージ体験」

第7回「役立つ育児グッズ」

第4回「ママカフェ体験」

第8回「マタニティフォト」

■ 事業総括・感想

現役のママだからこそ！ママにしかできない素敵な内容になったと思う。課題もあるが、赤ちゃんのエンパシーでプレママもママも笑顔になり、参加して下さるごとに自信になってくれていたように思う。イベント（事業）途中で出産報告をして下さり、みんなで喜び合ったこと、笑顔で「また来ます！」とって下さったことなどがママたちの自信にもなり、誰かの役に立つことができているという自己肯定感アップにもつながったと思う。



地 域 サ ロ ン ネ ッ ト ワ ー ク 作 り

実施団体 特定非営利活動法人 はなのいえ
市の協働部署 市民局 生涯現役推進部 生きがい推進課

■ 事業の目的

核家族化・少子高齢化などが進み、地域での交流が少なくなったことによる課題に対応するため、かつて存在していた地域交流の場所を市民の手でもう一度作りあげていく仕組みづくりを行うため、地域サロン講座、モデル事業、頒布用DVD作成を行ってきた。これからは、もっと市民の方に「地域サロン」の必要性を伝え普及していくとともに、子育て世代・障害者・高齢者に対する支援を同時に行っていくことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

今回の事業としては、これまで行ってきた地域サロンの必要性や仕組みを知りたいと思った人に伝えるための情報発信の場ができたと思う。これまでセミナーや研修会に足を運ぶことができなかった人に対しても簡単に伝えられるようになったことで、より多くの市民の皆さんに地域サロンについて理解していただけることができるようになったと思う。また、他の地域サロンや行政、その他の機関とも繋がることができるようになり、情報交換の場ができたと思う。2015年の介護保険制度の改正による柱の一つに、「地域で支え合い体制づくり」とあるが、急に仕組みをつくることは難しいと思う。しかし、姫路ではこの「地域サロン」づくりがこれから役に立っていくと考えている。この「地域サロン」を普及・啓発していくことで支え合いの中心に位置づけることができると思う。

■ 事業概要

- ・地域サロン紹介用ホームページの作成
- ・地域サロンセミナーの開催（姫路市との共同開催）

■ 事業総括・感想

地域でのつながりをつくるために必要だと思う「地域サロン」をつくるための仕組みづくりはできてきたように思う。しかし、それを市民の皆さんに浸透するようになるには、まだまだ時間がかかるように思う。今回のホームページの作成で、「地域サロン」のことを知ってみたい・やってみいたいなど、興味を持った方への情報交換ツールはできたように思う。しかし、興味を持てるようになるためのきっかけづくりは、まだまだこれから一步一步進んでいくしかないと思う。

官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座とネットワーキング

実施団体 特定非営利活動法人スローソサエティ協会
 市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動推進課
 姫路駅周辺整備本部 姫路駅周辺整備室

■ 事業の目的

官民連携による実践型まちづくりの担い手となる人材の育成を図ることを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・ 受講者に実践型まちづくりの知識と経験を伝達
- ・ 地域の様々な利害関係者とのネットワーキングの機会の提供
- ・ 駅前広場での受講生提案プロジェクトの実践による市民への成果還元
- ・ 参加した受講生が今回学んだ知識や得た経験、育まれたネットワークを活かし、かかわりの大小はあっても今後姫路の駅前公共空間の活用や協働のまちづくりを担っていく人材として活躍していく。

■ 事業概要

- ・ 官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座（座学・計5回）の開催
 - 第1回講座「官民連携に関する基礎知識」
 - 第2回講座「プロジェクト・ファシリテーションの極意」
 - 第3回講座「事業モデル立案の急所とは」
 - 第4回講座「行政のマネジメントを知る」
 - 第5回講座「利害関係者との合同形成とネットワーキング」
- ・ 受講生による実践イベントの実施



■ 事業総括・感想

20代から60代までのさまざまな職種や経験、まちへの思いを持つ方々が受講する講座となった。実践イベントを行うにあたり、課題別に4つのチームに分かれて何度も自主的なミーティングを重ね実施したことで、スタッフや受講者間に座学だけでは生まれ得ないつながりが築けた。また市民活動推進課、企画政策推進室はじめ行政との協働の面でめざましい成果を挙げた。

官民連携のための
実践型まちづくり人材養成講座受講者募集

「市民局との連携し、市民の願い、姫路の成長の場に合わせて、地域の発展と発展が促され、従来の行政連携では見られなかった新たな取り組みが実現しています。そこで、市民活動やまちづくり活動の推進に貢献する人材育成を目的として、実践型まちづくり人材養成講座を開催いたします。この講座では、行政の取り組みやまちづくりの現状、行政の役割や市民との関わりについて学び、実践型まちづくり人材の育成を図ります。

当講座は、合同形成の手段や行政の仕組みについての概要、また参加が容易であるワークショップの仕組みなど、受講者に必要知識やスキルを専門家の実践者から学びとるとともに、実際に新しく生まれた公共空間の活用を身近に事業モデルを立案し実行する「実践型まちづくり人材養成講座」です。

【目 的】 平成25年度「市民活動推進」の推進
 【期 間】 総講座5回開催（総講座21日）3月5日（水）～5月11日（月）
 【集 会 場】 25名（講座ごとに15名程度を定員としています）
 【定 員】 5名の単位募集、申し込み順に定員まで募集いたします
 【学 費】 1,000円（税込）※お申し込みの際に現金でお支払いください
 【主 催】 特定非営利活動法人スローソサエティ協会（NPO）
 【協 賛】 兵庫県立大学農学入団センター、ヒューマン環境推進センター、姫路市
 【申込先】 スローソサエティ協会まで（〒備前、姫路またはメールでも構いません）

申込先 & 問合せ先
 特定非営利活動法人スローソサエティ協会（NPO）
 〒720-0001 兵庫県姫路市2-2-1 3F
 TEL:079-227-4812 E-mail: slow@slowproject.or.jp
 TEL:079-227-4812 E-mail: slow@slowproject.or.jp
 Fax: 079-227-4332 E-mail: slow@slowproject.or.jp

官民連携のための 実践型まちづくり人材養成講座 日程と内容

● 5 講 座 日 程 ●
 ※全5講座「1日1回の講座」形式です。（4回講座終了後、5回講座は予定していません。）

10月25日（金） 官民連携に関する基礎知識
 「市民局との連携し、市民の願い、姫路の成長の場に合わせて、地域の発展と発展が促され、従来の行政連携では見られなかった新たな取り組みが実現しています。そこで、市民活動やまちづくり活動の推進に貢献する人材育成を目的として、実践型まちづくり人材養成講座を開催いたします。この講座では、行政の取り組みやまちづくりの現状、行政の役割や市民との関わりについて学び、実践型まちづくり人材の育成を図ります。」
 【講 師】 三 井 住 友 金 庫 株 式 有 限 公 司 社 員 兼 姫 路 市 民 局 参 事 長 三 井 浩 二 郎

11月1日（金） プロジェクト・ファシリテーションの極意
 「市民局との連携し、市民の願い、姫路の成長の場に合わせて、地域の発展と発展が促され、従来の行政連携では見られなかった新たな取り組みが実現しています。そこで、市民活動やまちづくり活動の推進に貢献する人材育成を目的として、実践型まちづくり人材養成講座を開催いたします。この講座では、行政の取り組みやまちづくりの現状、行政の役割や市民との関わりについて学び、実践型まちづくり人材の育成を図ります。」
 【講 師】 三 井 住 友 金 庫 株 式 有 限 公 司 社 員 兼 姫 路 市 民 局 参 事 長 三 井 浩 二 郎

11月11日（月） 事業モデル立案の急所とは
 「市民局との連携し、市民の願い、姫路の成長の場に合わせて、地域の発展と発展が促され、従来の行政連携では見られなかった新たな取り組みが実現しています。そこで、市民活動やまちづくり活動の推進に貢献する人材育成を目的として、実践型まちづくり人材養成講座を開催いたします。この講座では、行政の取り組みやまちづくりの現状、行政の役割や市民との関わりについて学び、実践型まちづくり人材の育成を図ります。」
 【講 師】 三 井 住 友 金 庫 株 式 有 限 公 司 社 員 兼 姫 路 市 民 局 参 事 長 三 井 浩 二 郎

11月18日（月） 行政のマネジメントを知る
 「市民局との連携し、市民の願い、姫路の成長の場に合わせて、地域の発展と発展が促され、従来の行政連携では見られなかった新たな取り組みが実現しています。そこで、市民活動やまちづくり活動の推進に貢献する人材育成を目的として、実践型まちづくり人材養成講座を開催いたします。この講座では、行政の取り組みやまちづくりの現状、行政の役割や市民との関わりについて学び、実践型まちづくり人材の育成を図ります。」
 【講 師】 三 井 住 友 金 庫 株 式 有 限 公 司 社 員 兼 姫 路 市 民 局 参 事 長 三 井 浩 二 郎

12月2日（月） 利害関係者との合同形成とネットワーキング
 「市民局との連携し、市民の願い、姫路の成長の場に合わせて、地域の発展と発展が促され、従来の行政連携では見られなかった新たな取り組みが実現しています。そこで、市民活動やまちづくり活動の推進に貢献する人材育成を目的として、実践型まちづくり人材養成講座を開催いたします。この講座では、行政の取り組みやまちづくりの現状、行政の役割や市民との関わりについて学び、実践型まちづくり人材の育成を図ります。」
 【講 師】 スローソサエティ協会 代表 三 井 浩 二 郎

● 5 講 座 終 了 後 ●
 12月～1月 駅前広場・地下公共空間での実践イベント
 2月 実践イベント報告プレゼンテーション

「自転車走って楽しいまちづくり」スタートアップ事業

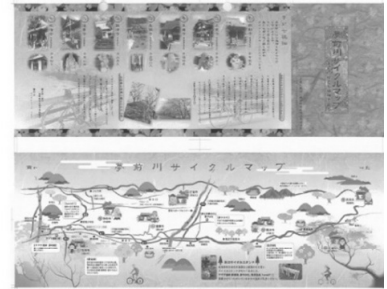
実施団体 姫路駅前広場活用協議会
市の協働部署 都市局 交通計画室

■ 事業の目的

自転車は環境への負荷が低く、基盤整備コストが安価で、健康増進にも役立つ移動手段である。駅前を拠点としたまちなかにおける回遊の手段として、また広域の観光やレクリエーションの周遊の足としての自転車の利便性を高めるとともに、走行の安全性を高める機会を設けることで、近い将来、自転車走って楽しいまち・ひめじを実現することを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・ 移動手段としての自転車の魅力・メリットに触れる機会の創出
- ・ 新しい駅前と周辺地域をつなぐ移動手段の多様化
- ・ 徒歩や公共交通を超えた広域の観光資源のネットワーク化
- ・ レンタルサイクルの利用促進と質的充実
- ・ 自転車利用のマナー向上による交通事故の予防



■ 事業概要

- ・ ウィーラースクール（子ども向け自転車教室）in 姫路の開催
- ・ サイクルマップの作成
- ・ サイクルスタンドの設置

■ 事業総括・感想

自転車教室を通じ、走行の安全性、環境への配慮を子供たちに伝え、サイクルマップで姫路の広域の観光やレクリエーションの周遊の足としての自転車の利便性、また姫路の良さの再発見を市民向けに発信できた。まだまだ姫路を自転車で走って楽しいまちとしてのイメージの定着はできていないが、継続して行うことにより、駅前を中心としたまちなかにおける回遊手段としての定着が見込めると感じた。また、夢前町のサイクルマップを制作したことで遠方への観光やPRにもつながり、駅前と広域とのつながりが生まれた。

Wielerschool in Himeji
第1回ウィーラースクール イン 姫路

ウィーラースクールとは

広島県広島市東区にある「広島県立夢前町立総合体育館」に、日本の環境を考慮し人気に輝いた「ウィーラースクール」が、このたびは姫路市に「Wielerschool in Himeji」を開催いたします。このイベントを通じて、子どもたちに「安全な自転車利用の楽しさ」を伝え、また「安全な自転車利用の楽しさ」を伝える機会を創出いたします。

開催日 2013年12月7日(土)

主催 大平倉会館 (姫路の総合 市民体育館併設)

時間 受付 12:30 ~ 開会 13:00 終了 17:00

参加料 小学生 1年・2年・3年生は保護者の付き添い

定員 小学生とも30人 (保護者を同席参加)

参加費 無料

お申し込み 必要事項を明記の上、アプタスへ、または電話にてお申し込み下さい。
お申し込み へルメット、グローブ (必ずしも可) ※ヘルメットは、グローブは、各自が用意して下さい。参加費のお申し込みは不要です。

備考 参加費は親子で1組を単位とし、兄弟のみの参加1人につき2〜3人になっても良い事とします。参加費と一緒に安全な自転車利用の楽しさを伝えていきたいと思います。

アプタス 大平倉会館 姫路市本町 6-8 番地 第一ビル 1階 市民体育館 併設駐車場あり

氏名(フリガナ)	姓 名	補助参加の有無
参加者	小学生 男女	あり・なし
同伴者	小学生 男女	あり・なし
住所	〒 TEL () -	

※参加の際は、必ずヘルメット・グローブの着用を義務付けて参加し、個人参加の場合は必ずヘルメット・グローブの着用をお願いします。また、参加費は必ず現金でお願いいたします。

主催 松原町公民館 協賛 ウィーラースクールクラブ
TEL・FAX 079-224-2928

N P O ・ 自 治 会 連 携 モ デ ル 事 業

実施団体 認定特定非営利活動法人 コムサロン21
市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動推進課

■ 事業の目的

NPOと地縁団体が今後、互いに連携し、活動できるための基盤をつくり、NPOが持つ事務処理能力やコーディネート能力を活かして、地縁団体の実務をサポートするとともに、地縁団体にNPO活動を認知してもらうことにより、NPO活動の基盤を向上させ、相互に信頼度を高めるため、互いにゆるやかなネットワークをつくり、地域住民により密着したまちづくり活動の機会を実現することを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・NPOが自治会に入っていくことで、互いの団体の活動をよく知ることができ、今後の連携や協働にもつながる。
- ・自治会の活動を見てきた中で感じたことは、「地域づくり活動は、地域住民の手によって地域を元気にしていくもの」ということである。あくまでも主役は、地域住民であるということ意識して、今後もコムサロン21が地域を元気にする「裏方」としてサポートし、地域の組織力に少しでも貢献できたら良いと考えている。互いの活動理解と関係づくりに時間をかけながら、自治会の課題を抽出し、その課題解決を的確に提案できるNPOの力が必要となってくるのではないかと感じた。

■ 事業概要

NPOと自治会が今後互いに連携して活動するための基盤づくりとして、事業の趣旨に賛同いただいた城西地区連合自治会の1年間の活動に参加し、自治会にコムサロン21の活動を認知していただくとともに、互いにゆるやかなネットワークづくりを行う。

- ・自治会での会議やコミュニティ活動等への参加（7月1日～2月20日）
- ・モデル事業の状況を情報発信（随時）
- ・情報交換会の実施（2月6日）

■ 事業総括・感想

自治会活動に継続的に参加し、徐々に関係を築くことができたことから、「情報交換会」を成功に導くことができた。また、自治会側に事業について理解して協力していただける中心人物がいたことが大変重要であった。1年という期間ではすぐに協働の成果は出せなかった。協働を成功させるためには、互いの活動理解に時間をかける必要を感じた。

城西連合自治会 認定NPO法人コムサロン21
NPO・自治会連携モデル事業
事業報告書



認定特定非営利活動法人 コムサロン21
平成25年1月

赤ちゃん先生プロジェクト

実施団体 HAPPY☆STYLE

市の協働部署 教育委員会 学校教育部 学校指導課

■ 事業の目的

核家族化が進み、地域の人とのコミュニケーションが希薄になっている現在では、赤ちゃんと接する機会が少ない。これまでは地域社会の中で自然と感じ、身に付いていた様々なことを赤ちゃん先生クラスで感じてもらう。

■ 期待される効果又は達成目標

回数を重ねることで愛着関係を築くことができた。また、1回だけでなく回数を重ねることによって一人一人が自ら気づき、それぞれ命の大切さを赤ちゃんを通して感じる事ができた。また、児童だけではなく、赤ちゃん先生もたくさんの児童や生徒と触れ合うことで社会力が身につき、一緒に参加しているママ講師自身も自己肯定感が上がり育児に自信を持てるようになった。

どの小学校でも赤ちゃん先生を体験できるような仕組みは作れないか、小学校や中学校だけでなく、高校や大学、高齢者施設でも開催を広げていきたい。

■ 事業概要

市内小学校2校・中学校1校において赤ちゃん先生クラスを開催（全12回）

■ 事業総括・感想

手柄小学校では6年生ということもあり、卒業式の日には花道に参加させていただきました。どの児童も赤ちゃん先生のことを大切にしてくれていること、自然と赤ちゃんの力で友達同士、人と人がつながる瞬間を目の当たりにしました。年間テーマである、みんな大事な命を赤ちゃんから感じ、またこれから先の人生に少しでも赤ちゃん先生が役にたつことができたなら、私たちの活動はこれからも必要な活動だと感じました。赤ちゃんを通じて自らが気づき、感じる赤ちゃん先生は、受講した児童たちだけではなく、赤ちゃん、母親も成長し自己肯定感を高められるということ、改めて感じる事ができました。今後もたくさんの方に知っていただけるように活動していきたいと思えます。

夢 街 道 お も て な し 事 業

実施団体 置塩城おもてなし隊
市の協働部署 市民局 生涯現役推進部 スポーツ振興課（マラソン準備室）

■ 事業の目的

世界遺産姫路城マラソン2015の開催コースである置塩地域で、地域独特のランナー“おもてなし”を行い、姫路市初の市民マラソンを盛り上げる。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・マラソンの参加ランナーから、夢前町での応援やもてなしに多数の感謝コメントが寄せられているように、世界遺産姫路城マラソン2015の盛り上げに大きく貢献した。
- ・地域独特のおもてなし事業の実施は、地域が連携し、一丸となることで、地域に活気を呼び起こすきっかけとなった。

■ 事業概要

9月 おもてなしボランティア募集

11月 おもてなし内容の決定

2月22日

世界遺産姫路城マラソン2015当日、置塩地域独特のランナー“おもてなし”の実施（古知地区）祭り屋台や小学生の和太鼓、とん汁・ゆず茶・竹すみうどんの炊き出しなど（置塩城山麓公園付近）日生学園の和太鼓・夢前町で生まれた明神太鼓・夢笑舞のそうらん踊り、置塩中のブラスバンド・甲冑姿での応援、ゆず茶・そば粥・甘酒・ぜんざいなどの提供

■ 事業総括・感想

世界遺産姫路城マラソン2015において、ランナーをはじめ応援にきた市民にも喜ばれ印象に残る応援、置塩地域独特のランナー“おもてなし”により、次年度も走りたいと思わせる応援を計画し、実施しました。

ランナーや置塩地域以外からの多くの来訪者により、地域住民が沢山の活力を得て、地域が一丸となり、活気づいた。ランナー、応援者、ボランティアでご協力いただいた多く皆様、団体に心から感謝しています。

姫路城西エリア地域資源再発見プロジェクト

実施団体 認定特定非営利活動法人コムサロン21

市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動推進課

■ 事業の目的

- ・城西地区の持つ観光資源を再発見し、地域コミュニティ活動の活性化を図る。
- ・城西地区連合自治会とコムサロン21が今後も連携できるための更なる基盤をつくる。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・NPOとの協働により、勉強会と見学会を通じて、観光資源として景福寺山に対する住民の関心を引き出すことが出来た。
- ・景福寺山の史跡を研究している景福寺山史跡保存会との連携を図ることができ、ニーズの掘り起こしと専門家とのパイプが作れた。

■ 事業概要

- ・城西地区連合自治会のエリア内にある景福寺山を観光資源として認識するため、勉強会や見学会の実施
- ・城西地区連合自治会と景福寺山を管理している景福寺、景福寺山の史跡を調査研究している景福寺山史跡保存会、兵庫県立歴史博物館とのコーディネートを行った。

■ 事業総括・感想

コムサロン21が平成25年度から取り組んできた自治会（城西地区連合自治会）とNPOとの協働によるまちづくりの2年目は、歴史遺産を地域の資源として再認識し、その資源の魅力を調査・研究することにより、地域コミュニティを活性化させるための基盤づくりとして景福寺山をテーマに事業に取り組んできました。歴史遺産に係る寺社、保存活動団体、公的機関、他の自治会などとも交流を図りながら、コムサロン21の得意とする調整機能や役割を發揮することができ、自治会において勉強会等を開催したことにより、地元の市民が地元の歴史遺産を知るきっかけになったことが大きな成果と言えます。今後、自治会が主導して勉強会や見学会を開催や、姫路城に来る観光客へ新たな観光資源としてPRを行うなど活動の幅が広がることを願っています。



出前サロン講座と運営者のネットワーク作りとサポート

実施団体 特定非営利活動法人はなのいえ
市の協働部署 市民局 生涯現役推進部 生きがい推進課

■ 事業の目的

地域交流の場所を市民の手でもう一度作りあげていく仕組みづくりを行うため、従来から実施していた地域サロン講座、モデル事業、頒布用DVD作成等に加え、出前地域サロンを行い、より多くの市民が地域サロンに体験する機会をすることで、参加人口を増やし運営者のネットワークの構築を行う。

■ 期待される効果又は達成目標

- 参加者の自治会や民生委員・NPO団体の方々から「出前サロン」の実施要望があったので、今回制作した脚本・企画を実施し、普及活動を継続して行っていきたい。また、他団体等が開催できるよう地域サロン講座の方法を整理し、広げていきたい。
- 実施主体者の発掘及び地域住民への意識啓発を行いたい。
- 実践者同士の交流と情報交換ができる機会をつくりたい。

■ 事業概要

出前地域サロン講座・開催2回

- 1部 老後のお金の話
- 2部 老後の生活を演劇で見る
- 3部 介護が必要になった時の話

■ 事業総括・感想

地域サロンの必要性、地域での繋がりに対しての一般住民の意識が低く、どうしたら興味を持っていただけるかが課題だった。「老後のお金のこと」をテーマに講座開催範囲を各校区に絞り込むことで、今まで関心のなかった層が参加するきっかけとなり、誰もが知る桃太郎という題材がわかりやすく好評であり、サロン形式の講座で参加者が出前サロンを体験することができ、今後の展開に期待ができる結果となった。テーマに関心を持って参加された住民の年代が地域のつながりの核となる世代であったため理解を得られた。今後も、地域サロンに興味や関心のあるグループ発掘し、運営に向けたサポート、あわせて実施主体者のネットワークづくりを継続し、姫路市内での地域のつながりづくり活動の基盤づくりを行っていききたいと思う。

はなのいえ市民フォーラム 2014
参加費無料
先着100名

そろそろ考えたい
老後のお金のこと

1部 老後のお金の話
実行委事務局の時代をライブ演劇で
ご紹介します

ソニー生命
ライブプランナー 川中貴之

2部 老後の生活を演劇で見る
「娘・桃太郎・桃太郎の介護生活」

劇団 小劇屋 Pin-Q

3部 介護が必要になった時の話
これまではどのようにして
介護保険と老後の暮らし。

NPO 法人
はなのいえ理事長 内海正子

8月31日 日曜 13:30-15:30
姫路市中央市民センター

自分で老後の暮らしをつかっていく時代を生き抜くために

10年後、20年後の自分たちはどうなっているか、考えてみたことがありますか？完成度思い通りの暮らしが実現できるでしょうか？万一、無期や介護が必要になったらどうなるでしょうか？介護保険はあるから大丈夫！と思ってしまう。2015年の春から、介護保険制度の内
容が変わってきます。これは一人ひとりが、自分の老後をどう過ごすかという考え方をしなければいけません。介護保険などのサービスは、地域の結びつきや生活などのつながりを利用して、暮らしをつくることで実現が期待されています。一緒に老後の暮らしを考えてみましょう。

NPO 法人
はなのいえ
主催：NPO 法人はなのいえ 後援：姫路市（平成26年度姫路市特定活動事業）

子どもたちに語ろう 継ごう…「置塩城」

実施団体 特定非営利活動法人おはなしくれよん
市の協働部署 市民局 生涯現役推進部 スポーツ振興課（マラソン準備室）

■ 事業の目的

世界遺産姫路城マラソン2015の開催コースとして置塩城跡のある夢前町が組み込まれた事を機会として、姫路市の国史跡置塩城跡を語り継ぐために、置塩城跡の歴史・文化などを子どもたちや保護者たちに学んでもらうことを目的とし、地域で活動している各種団体との協力を得て、多様な企画を実施する。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・以下地元地域8団体との協力と連携を得ることが出来た
国史跡置塩城跡保存会、鎧工房、朗読グループ
夢前町連合自治会、(旧)置塩城下町住民、町村公民館
姫路市立置塩小学校、日生学園高校
- ・国史跡置塩城跡を語り継ぐ趣旨のもと、夢前町地域の各種団体と連携したことにより今後の姫路城マラソン実施とともに、地域のまちおこしを進展することを考える。

■ 事業概要

1. 子どもたちに語ろう 継ごう…「置塩城」の開催
お話（旧夢前町に伝わる民話）・紙芝居（置塩城物語）・ワークショップ・
鎧武者姿で昔の置塩城下町を散策
2. オープンスクールの開催（姫路市立置塩小学校6年生対象）
紙芝居・ワークショップ・鎧武者体験
3. 世界遺産姫路城マラソン2015の応援
応援隊（鎧工房・日生学園高校生）

■ 事業総括・感想

“子どもたちに語ろう 継ごう…「置塩城」”の開催当日は、大人ばかりで地域の子どもの参加が無かったが、姫路市立置塩小学校の協力により、オープンスクールとして当初事業の目的を達成することができました。マラソン当日には、日生学園高校生の参加により、鎧を着てランナーを応援しました。このように地域の理解や支援を得ることにより、今回の事業を終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

夢 街 道 お も て な し 事 業 2 0 1 6

実施団体 置塩城おもてなし隊
市の協働部署 観光交流局 スポーツ推進室（姫路城マラソン推進室）

■ 事業の目的

世界遺産姫路城マラソン2016の開催コースである置塩地域で、地域独特のランナー“おもてなし”を行い、第2回目となるマラソンを盛り上げる。合わせて、夢前地域のPRを行う。

■ 期待される効果又は達成目標

- 1,500～2,000食を準備した炊き出しによる“おもてなし”は、行列ができる大盛況であった。
時間を気にしないランナーの多くは、こうした“おもてなし”や置塩地域の風景を楽しみながら、走られる方が多く、ランナーや応援に来られた方々からの感謝の言葉が多数寄せられ、沿道の応援に出た地域の住民は、逆に活力をもらい、地域に活気がもどったように感じた。
- 市民が主体となって地域独特のランナー“おもてなし”を行うことで、ボランティアの醸成及びスポーツ振興への市民参画が促進されることを期待する。

■ 事業概要

- 置塩地域独特のランナー“おもてなし”の実施
（古知地区）祭り屋台や小学生の和太鼓、とん汁・ゆず茶・黒すみうどんの炊き出しなど
（置塩城山麓公園付近）置塩中のブラスバンド、自由ヶ丘高校の和太鼓・明神太鼓・夢笑舞のそうらん踊り、甲冑姿での応援ゆず茶・そば粥・甘酒・ぜんざいなどの提供

■ 事業総括・感想

世界遺産姫路城マラソン2016が開催されることになり、昨年に引き続き、私達が住む置塩地域もマラソンコースとなり、昨年以上のおもてなし応援を行おうと企画しました。鳴り物・音・飲食・声援等による“おもてなし”により、次年度も走りたいと思わせる応援を計画し、実施しました。ランナーや置塩地域以外からの多くの来訪者により、地域住民が沢山の活力を得て、地域が一丸となり、活気づいた。ランナー、応援者、ボランティアでご協力いただいた多く皆様、団体に心から感謝しています。



「地域の支え合い体制」の基盤づくり事業

実施団体 特定非営利活動法人 はなのいえ
市の協働部署 市民局 生涯現役推進室

■ 事業の目的

今回の介護保険法改正で、全国的に地域の支え合いの仕組みづくりが始まったが、姫路市では、これまでに地域サロンの普及活動を先駆的に協働で取り組んできたので少しずつ地域の中での助け合いの理解が深まってきていると感じている。今年度さらに市民主体の助け合いの仕組みづくりの意識を深め、実践者を増やしていくために取組みをしていく。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・ 姫路市内でのサロンが50か所程度増えていることを伺い、地道な取り組みが少しずつ成果に繋がってきていると感じた。
- ・ 講座を通じて介護保険の制度改正についての理解も深まってきている。
- ・ 地域サロンを知ってもらうためのパンフレットと別に運営ノウハウに特化したハウツーリーフレットを作成でき、今後、立上げ希望者への支援をしやすくなった。

■ 事業概要

- ・ 出前地域サロン講座の開催 3回
- ・ 活動ノウハウ普及パンフレット3000部の発行（姫路市及び交流施設、希望者等へ配布）

■ 事業総括・感想

姫路で地域のつながりを広げるために「地域サロン」の必要性を感じ、講座をはじめDVDやホームページ、パンフレットや絵本等の作成し、普及啓発を行ってきた。また、介護保険法改正等の動きもあり、姫路市においても地域の居場所づくりとして、認知症カフェや地域サロンづくりを進めてきたことから、地域サロンを始める住民の活動が増えてきた。今年度実施した出前サロン講座では、このような制度改正の動きも相まって、参加者や関係者の方よりサロンの立上げや運営にあたってのノウハウを教えてほしいという声を多く伺った。相談を頂く内容から、責任の所在や活動の広げ方、参加者の集め方など、立上げや運営にあたっての不安点があることを実感した。今回作成した「リーフレット（地域サロンのつくり方）」は、講座参加者の皆さんから伺った内容も参考にさせて頂きながら制作した。この冊子を使って出前サロン講座を行ったり、地域サロンをつくりたい方々に配布したり、行政が実施するセミナー等でも活用してもらいながら、この活動を広げていきたいと思う。これからますます地域の支え合いが必要になり、その基盤となるのは地域の居場所である地域サロンだと考える。今後も、地域サロンの普及と啓発を進めていきたいと思う。

空いた園舎を利活用した「地域社会福祉」の拠点づくり事業

～『児童虐待防止』『認知症対策』に特化した子育て支援の地域活動～

実施団体 特定非営利活動法人ハッピーキッズひがし
市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動推進課

■ 事業の目的

昨今の少子高齢化・核家族化による、独居老人や認知症（介護も含む）問題、育児ノイローゼや児童虐待といった問題に、地域で協力・連携して取り組み、子育てしやすい環境をつくり、子どもや老人が元気にのびのびと楽しく暮らせるように、相談・支援等を行うことを目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- 子育てに疲れた母親が、講演会等への参加を通して、ストレスを軽減できているようで、児童虐待防止に繋がると思われる。
- 相談会で虐待の事実あるいは予兆が判明すれば、地域の民生委員児童委員さんとも連携を取って、少しでも早く対処できるように体制をとったが、虐待に至るものは見受けられなかった。
- 高齢者が小さい子どもや動物と触れ合うことは認知症に限らず、大変生き生きとされていた。
- にこにこカフェで、子供たちが踊りや歌を披露し、高齢者は大変嬉しそうに見ておられた。
- いろいろな行事を通じ、三世代交流することで、幼児（子ども）には高齢者をいたわる気持ち、高齢者には自分にも役割があるという気持ちが芽生え、元気になれているように思われた。一緒に行事に参加し、いろんな世代の人が互いに顔見知りになることにより、孤立することなく地域で楽しく暮らせるようになってきている。

■ 事業概要

【児童虐待防止】講演会／チラシ・ティッシュ配り／相談会
【子育て支援】講演会／親子リズム体操／リフレッシュ・ヨガ教室／相談会（託児付き）
【幼老（3世代）交流広場】にこにこカフェ／昔あそび／カルタ遊び／いきいき百歳体操での交流
【幼老（3世代）交流イベント】サファリジャングルキャラバン／七夕会&模擬店／ふれあいスポーツデイ&模擬店／クリスマス会／餅つき大会 での交流

■ 事業総括・感想

にこにこカフェでの健康相談・認知症相談はずいぶん周知され、お年寄りの交流の場としても定着しつつあるように思われる。イベントに関しては、親子参加のイベントとちがい、高齢者は参加が難しい方も見受けられた。また、三世代交流イベントなので、祖父母等が遠方から来られる方もあり、駐車場確保の問題も大きくなってきた。しかし、今年度は、地域の方で駐車場を提供して下さる方があったので、大変助かった。今後も、こうした地域とのつながりを大切にして、活動していきたい。

ヴィジョンストリートダンスコンテスト 2016

実施団体 B.S.D.A 播州ストリートダンス協会
市の協働部署 観光交流局 観光文化部 文化国際課

■ 事業の目的

日々の練習の成果を見せ合うことで、より創造性を高め、目標を持つことでモチベーションを上げ、演技の向上につなげる。

今大会を実施することにより、趣味から芸術、スポーツとしてのダンスへ意識転換する。芸術的ダンスに理解ある『姫路』と広く認識してもらおう。

■ 期待される効果又は達成目標

コンテストを行うことにより姫路市民のみならず他府県からの参加もあり姫路観光の活性化、またダンス芸術、文化に理解のある町『姫路！』として子供たちからも認識してもらえたかと思う。出演者年齢も2歳～50歳と幅広い年齢層で、少しずつではあるがダンス芸術、文化も認知されつつある。また、基本となるリズム感トレーニングは普及活動の成果もあり、スポーツのウォーミングアップにも取り入れられ、芸術、スポーツとしてのリズムダンスも認知された。

■ 事業概要

【イベント】

- ・ストリートダンスにける魂を競い合うコンテスト（contest）
ストリートダンスのジャンルは問わず公平なジャッジを実施。数名のジャッジと観客の前でダンスを披露し、順位を競うもの。キッズ・一般の各優秀チーム（1位～3位）を選出した。
- ・各学校のダンス部、各ダンススクール等の生徒による発表会（show case）
- ・トップレベルのダンサーによる演技（guest show）

【事前活動】

- ・学校ダンス部 一般によるオープニングアクト出演
レッスン→交流会→オーディション
- ・ダンスの基本なるリズムダンストレーニングの普及活動
姫路市外への姫路のダンス文化等のPR活動

■ 事業総括・感想

大会として兵庫県最大であり、大阪～岡山等県外からの参加者も多数あり、活気あるイベントでした。姫路城の花見のシーズンと重なり観光をかねた参加者も多く『春はヴィジョンイベント』という声も出てくる程このイベントも各所に浸透してきたかと思う。

長期においてオープニングアクトのレッスンも行い、このイベントの見所としても認知されたかと思う。今後は、今以上に集客、スムーズな運営を目指す。

姫路城グランドオープン記念 姫路城からの帰り道、寄り道マップ（城南・船場・城西）とまちあるき

実施団体 特定非営利活動法人 歴史と出会えるまちづくり船場城西の会
市の協働部署 観光交流局 観光文化部 観光振興課、教育委員会 生涯学習部 文化財課
(公社) 姫路観光コンベンションビューロー

■ 事業の目的

定期的に姫路駅から城近くまでのまちあるきを実施しており、毎回 50 名程度の参加者と、史跡や工房、店を訪ね、地域を巡る。過去には外国人を対象にしたウォークも数回開催した。この事業では観光客が姫路城からの寄り道マップのルートに従い、自由気ままに地域内を散策し、駅に向かうように誘導する。テーマ別や所要時間も明記し、ニーズにあったコースが選択できるようにする。

■ 期待される効果又は達成目標

観光客への配布は始まったところであり、効果は確認できていない。すでに、紹介店舗や工房は外国人が訪れることも想定したおもてなしの対応に備えている。このマップは外国人が英語面を示して地域の人に尋ねても、裏面には日本語があり、対応を容易にしている。またその逆、英語版を見て、日本語面で尋ねることも可能である。英語版はわかりやすい内容にするため、日本語版と紹介する内容を微妙に変えている。

■ 事業概要

- ・ 3月に A2 版 12 折のマップを発行。(表裏で、日本語版と英語版で地域を紹介し、日本人、外国人にも対応している。配置先は観光ナビポート、城の売店、事業に参加する店舗や工房、地域の史跡、ホテル等)
- ・ マップ作成のために史跡の検証、店舗や工房の調査、交渉、取材、その他の情報収集を行った。
- ・ 骨子がまとまってきた1、2月にマップ情報を検証する2回のまち歩きをした。(掲載内容：史跡の説明や見所、食事処やカフェ、居酒屋やバー、ショップ、お土産を扱う店、体験可能な工房を独自調査のコメント入りで紹介、まち歩きに必要な多くの情報も加えた。紹介店舗や工房には目印になるサインを取り付けた。)

■ 事業総括・感想

紹介地域を広げたので、既発行のものとはスタイルの違うマップになった。スタッフの思いの詰まる、情報一杯の紙面は日本語版と英語版を1枚の表裏で仕上げた。外国人観光客にも楽しい、魅力ある内容は他にないマップだと思う。絞りこんだ35店舗、工房は各々おもてなしを用意して、来店に備えている。当初予定のA3版では収まらず、情報を明確に伝えるためA2版フルカラーにした。縮尺や方位を忠実にしたルートマップはスタンプラリーも兼ねた。英語版の英訳はスタッフが行ない、内容精査は市観光振興課の田中課長に担当していただき、スタッフとの議論のもと、外国人にもやさしい仕上がりになった。マップの配布や記念品の手渡しも含め、実働的な協働事業を実感した。



外国人観光客おもてなし英会話講座

実施団体 特定非営利活動法人日本ハンズ
市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動推進課
観光交流局 観光文化部 観光振興課

■ 事業の目的

姫路城オープンを契機に海外からも多くの観光客が姫路を訪れています。外国人観光客に対して、困っていたら助けてあげたいと思う一方、英語が話せず話しかけるきっかけを失っている場合があるので、簡単な英語での対応ができるようになる「おもてなし英会話講座」を開催し、観光客受入体制の充実を図る。

市民や英語での対応が必要な方の英会話コミュニケーション力をアップするために、座学だけでなく、実際の街で想定される会話をネイティブ講師と実践を交えながら体験し身につけていく。

■ 期待される効果又は達成目標

受講された方の多くは、外国人と話す事に対して文法や発音などに自信がなかつたためらいがあり、苦手意識があるようだったが、講座を受講し楽しく学べたことで、今後コミュニケーション力が身についていくという実感を持たれていた。また、ネイティブスピーカーと話す機会を持てた事で自信が付き、今後は困っている外国人に自分から話しかけたり、学んだ事が今後活用していただけるのご意見もいただき、前向きに積極的に行動していこうとする姿勢へと変わった。

■ 事業概要

市民や商店街、おみやげ屋さん、レストランなどの方々にも広く呼びかけ、多くの方が受講できるおもてなし英会話講座を開催する。

開催：1回10名、レッスン2時間を全16回。受講料無料。

一般向け、接客業向け、実践練習の日を設定し、受講生に応じたレッスンを行う。

■ 事業総括・感想

4カ月に渡り16回のおもてなし英会話講座を行い、126名にご参加いただいた。一般向け、接客業向けそれぞれを網羅できるようにしたため、英語コミュニケーションを必要としている方の個別の課題にも対処でき、一人ひとりの役にも立てたのではと感じている。アンケート結果より91%の方が講座に満足との評価を頂きました。特に姫路駅付近などでの実践練習では、受講生も目を輝かせて会話を楽しみながら世界各国の観光客に姫路の情報発信をしたり、実際に困っている人を助けることができ、海外の人からもとても良い取り組みだとの声をいただきました。今後も姫路のグローバル化に貢献していけるよう取り組んでいきたいと考えている。

見えないものが見えてくる親子養成講座

実施団体 特定非営利活動法人スローソサエティ協会
市の協働部署 姫路市宿泊型児童館 星の子館

■ 事業の目的

豊かな自然の中で視覚、嗅覚、聴覚、触覚など、五感をフルに使うことで多様な感性を育む。普段では気がつかないものに気づき、あっても見えないものを知ることによって見えてくる、そんな体験をすることによって感性を磨くキッカケづくりを行い、子どもの健やかな育ちを応援する。また親も一緒に体験することで、家庭でも共有した新しいモノの見方が出来る。さらに、参加者同士の家族交流が続くキッカケを創出する。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・感性、創造性を磨く時間の提供。
- ・親子体験により各家庭での作成が可能。
- ・ずかんの展示により広く一般市民への成果の還元。
- ・星の子館及び、星の子館のスタッフの魅力の伝達。
- ・あたらしい繋がりが生まれる場の創出。



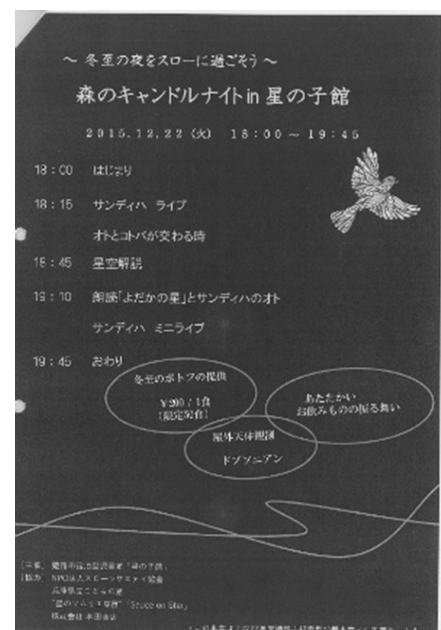
■ 事業概要

豊かな自然の中で視覚、嗅覚、聴覚、触覚など五感をフルに使うことで、多様な感性を育む内容のイベントを、日帰りプログラム・宿泊型プログラム・夜型プログラムとかたちを変えて3回実施した。

■ 事業総括・感想

参加者がそれぞれの感性で創り上げていく貴重な記録媒体を生み出すことができたことは、大きな成果であり、姫路市民のみならず、奈良・京都・岡山からの参加者もあり、姫路市宿泊型児童館ならではの魅力をさらにアピールできたと感じる。

キャンドルナイト in 星の子館では、来場いただくのには不便な時間帯での実施と決めたことは、大きなチャレンジでもあったが、たくさんの方々が訪れ、予想以上に長時間滞留してもらえたことはオトとコトバと星空解説の充実した時間を創りあげることが出来た成果であり、大人も楽しめる施設であることがアピールできたと感じる。



障がいの理解と障がい者スポーツ啓発事業

実施団体 チームWeB
市の協働部署 教育委員会 学校教育部 学校指導課

■ 事業の目的

多感な青年期に「障がい」の持つ意味に触れ、障がい者スポーツを体験、学ぶことにより、児童・生徒の成長に寄与することを目的とし、2020年東京オリンピックパラリンピックに向けて、障がい者スポーツならびに身体障がいに関する啓発用DVDを作成する。

■ 期待される効果又は達成目標

姫路市を中心に年間約45校を訪問し、車いすバスケットによる体験交流を行っており、障がい者スポーツに対する認知度は高まっている。2020年東京オリンピックパラリンピックに向けて障がいの有無に関わらず、ノーマルな社会を考えるための有効な副教材となるものです。

■ 事業概要

障がい者スポーツに関する2つの要素を織りこんだDVDを作成する。第1の要素は、「車いすバスケットボール」と実際の学校訪問風景を見ることにより、総合学習の参考とする。第2の要素は、車いすで生活する者の日常生活での工夫や思いを伝え、「共生」の世界観を拡げるツールとする。

■ 事業総括・感想

姫路市との協働事業は、日頃からWeBの活動実態への理解もあり、協働相手方との打合せも順調に進みました。制作委員会発足後はDVD制作の意図がしっかりとしたものになり、委託先(Wink)、取材先(学校、選手)の協力もあり、大変有効な啓発用DVDが出来あがりました。



地域の力で地域史料を保全継承する

実施団体 香寺歴史研究会
市の協働部署 市民局 市民参画部 市民活動推進課

■ 事業の目的

史料は絶えず消滅の危機にさらされており、ことに大災害では壊滅的な打撃を受ける。私たちに求められているのは、これらの歴史の証となる地域史料を保全し、後世に伝えることである。この事業では、地域史料の所在を確認し、万一に備えるとともに、史料を継承するための基礎作業として目録を作成する。また、保全には、地域住民の理解と協力が不可欠であるので、地域で史料展を開催して理解と関心を高める。

■ 期待される効果又は達成目標

1. 個人文書は、所蔵者が香寺町史編さん時に整理された文書を保存継承されていることを、この度の追跡訪問で確認できた。
2. 自治会文書は、この度の事業で整理され、目録が作成された。この整理によって今後の自治会運営に大いに資すると期待される。
3. 地域史料展によって、史料を公開し、地域住民の史料への関心を高めた。

■ 事業概要

- ・ 地域史料の整理・保全に関する研修を行う。
- ・ 地域史料の整理・保全活動を実施する
(個人所蔵文書の保存状態の確認、自治会文書の整理、目録作成、目録集の刊行)
- ・ 地域史料展示会の開催

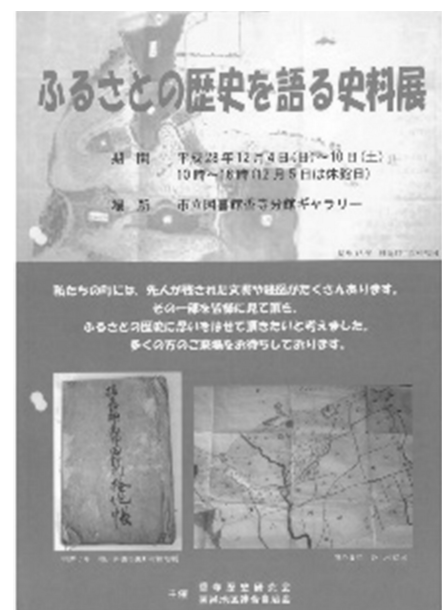
■ 事業総括・感想

単なるイベント的な事業に終わらず、年間を通じて活動し、次につなげる成果を得られたと思う。今回の目に見える成果としてあげるのは『香呂地区自治会文書目録集』の刊行と地域史料展(「ふるさとの歴史を語る史料展」)の開催である。戦後、ムラ社会が崩壊したといわれるが、今、地域住民が取り組んでいるのはムラの再生である。再生は過去と断絶してはありえない。地域の歴史遺産を活かすことから未来が開けると思っている。今回の成果がささやかでも足掛かりとなって、香寺町域での地域づくりがさらに進むものと私たちは期待し、力を合わせていきたい。

香呂地区 自治会文書目録集

平成28年(2017)05

香呂地区連合自治会
香寺町史研究会



みんなで踊ろう！ダンスは心にも体にもいい

実施団体 播州ストリートダンス協会
市の協働部署 教育委員会 学校教育部 学校指導課

■ 事業の目的

音楽とジャンプ運動を合わせることにより、スポーツに必要なリズム感、基礎体力を養成する。幼児はこの教材から集団でのルール等を学ぶこと、高校生以上にはアスリートの為のリズム感をつけることを目標とする。また、親子、地域交流にも使いやすいので、コミュニケーションをとるための要素として実施する。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・スポーツに必要なリズム感が身についた
- ・実施前と実施後では、格段に基礎体力（30m走、跳躍等）の数値が上がった。
- ・幼児には集団の中でのルールが身についた。
- ・老若男女問わず実施できるので、これを通じてコミュニケーションをとりやすくなった。
- ・手のふりをつけると簡単にダンスになるので、運動会、文化祭、支援学校慰問等で演技できた。
- ・ダンスアレンジした童謡を使うことで童謡に親しみがわいた。

■ 事業概要

幼稚園教員等の講演と実技研修会や特別支援学校等慰問交流会でのワークショップ、姫路市内各地でのリズムダンスのワークショップの開催などを通して、リズムジャンプを取り入れながら、スポーツに必要なリズム感や体力づくり、集団の中でルールを身につけるトレーニングを行った。

■ 事業総括・感想

楽しみながら、基礎体力をつけ、スポーツに必要なリズム感をつけ、また今までにないコミュニケーションツールであることから、親子であるとか、子どもたちとお年寄りなどと地域で交流もできました。使用した音楽が現代リズムではあるものの、童謡の『赤とんぼ』ということもあり、お年寄りにも無理なく感じていただいた。参加者からは、「とても楽しく運動もでき、コミュニケーションもとれた」という言葉をいただきました。



認知症になっても地域で暮らせるために、地域の中で支え合う仕組みづくり

実施団体 特定非営利活動法人 はなのいえ
市の協働部署 市民局 生涯現役推進室

■ 事業の目的

介護予防・日常生活支援総合事業の施行に伴い、地域での支え合いの仕組みづくりをさらに進めていくことが大事だと考えています。その一環として、本年は認知症の方を地域でどう支えていくのかということに特に焦点を置き、具体的な援助方法を学び、実践につなげていくことを目的とします。

■ 期待される効果又は達成目標

参加した方より、認知症サポーター養成講座・声かけ練習により、接し方のポイントなど、具体的な関わり方について学ぶことができた。徘徊模擬訓練を行うことで、より実践に近いカタチで認知症の方を支える体験をすることができた。とのご意見をいただきました。新聞にも取りあげていただく事ができ、地域ぐるみで認知症の方を支える必要性について地域に訴えることができました。また、自治体や他府県からも、徘徊模擬訓練をしたいがどうやって行ったらいいかわからないので、完成したら是非DVDを利用してみたいとのお声を多数いただくこともできました。

■ 事業概要

- ・「認知症の方のサポートができる地域をつくるDVD」の作成
- ・DVDを作った内容をもとに地域で徘徊模擬訓練を実施

■ 事業総括・感想

介護保険がスタートして以来、認知症高齢者を地域（在宅）で看ていくのは難しいという考えが徐々に増え、地域（在宅）で暮らすお年寄りの姿が少なくなっているように感じていました。しかし、ここ数年、国が「地域作り」「地域共生」へと方向転換したことをきっかけに、地域住民も自分たちの事として様々な問題について、地域で取り組む姿勢がみられるようになってきました。そんな中で行った、今回の徘徊模擬訓練の実施とDVDの制作は、地域住民に改めて「認知症の理解」や「地域での支え合いの大切さ」を考える機会になったと実感しています。2004年に九州の大牟田から始まった徘徊模擬訓練が、やっと姫路でも取り組み始められることを嬉しく思うとともに、その必要性をしっかりと地域住民に伝え、この活動から「認知症になっても安心して地域で暮らすことのできる地域作り」を目指していきたいと考えています。また、行政・各種関係機関とも連携しながら、さらに内容の充実を図り、実践地域の拡大や認知症サポーターの増加にも努めていきたいと思っています。

防 災 意 識 向 上 イ ベ ン ト

実施団体 姫路おかんプロジェクト
市の協働部署 市長公室危機管理室、消防局 消防・救急課



■ 事業の目的

- ①現役子育て世代（特に未就学児を持つ親）の防災意識向上と、子連れ避難の心構えを学び、災害時に役立つケガ・骨折時の対応の習得
- ②姫路市の災害の歴史を復習し、東日本大震災・原発事故体験談から災害時の行動や普段の備えを学ぶ

■ 期待される効果又は達成目標

- ①雨の中、0歳から60代まで約100名ご参加いただきました。1部の座学では、熱心にメモをとる方が多く驚いた。避難所での生活の様子や通常の非常持ち出しでは子連れ避難時に困るということがよくわかる内容だった。2部は、姫路市消防救急課職員によるとっさのケガ骨折応急手当指導、子供たちも舞台上がり、実際に身近にある道具を使って手当を体験し、親からなるほどという声も上がっていました。今日からすぐ実践できる内容だった。
- ②以下参加者アンケートより、防災についての認識が甘かった、災害時は与えられた情報だけを頼りにせず自ら正確な情報を集める必要性に気づかされた。姫路市の歴史を振り返り、防災意識を持つようになった。地域の防災活動を手伝いたいと思った。原発が姫路市にとって遠い話ではないことがよく分かった。地域の絆・コミュニティの大切さを学ぶことができた、家具の転倒防止策が関西では普及していないことを知った等、参加者からの防災意識向上が感じられるお声をいただきました。

■ 事業概要

下記の内容で講座を開催した

- ①子育て世代に特に必要な非常持ち出し、東北震災被災者体験談に基づく避難時～避難所での生活の様子、子供の身体と心のケア、消防局職員による応急手当指導
- ②地元コミュニティFMの災害時活用方法、災害時の行動、実際に被災された方の体験談、姫路市並びに播磨地域の災害の歴史を復習、講師陣との質疑応答

■ 事業総括・感想

今回の事業では、子育て世代と親世代それぞれに特化した防災講座を目指しました。いずれのイベントも参加者様の防災スイッチを押すきっかけになったと思います。それぞれのご家庭、地域コミュニティにとって必要なものは何かを改めて学べたイベントでした。姫路おかんプロジェクトにとって初めての提案型協働事業でした。市関係者様、消防救急課様、危機管理室様ご協力ご支援、本当にありがとうございました。

姫路のおもろいてんこもり！野里地区と秋祭りを世界へ発信

実施団体 ひめじ手づくりてんこもり市実行委員会
市の協働部署 観光交流局 観光文化部 観光振興課

■ 事業の目的

日帰りが多い姫路の観光客。その観光客に1泊して姫路の魅力を感じ、城以外の魅力、そして人の魅力にふれてもらう機会をつくと同時に姫路ファンになっていただき、さらなるファンをつくることを目的とした。(今回は、姫路が誇る播州の秋祭り、そして今注目の野里エリアを発信することにした)

■ 期待される効果又は達成目標

播州の秋祭りを英語で発信するのはとてもいい試みだ、と灘の方がおっしゃってくれたのがとても嬉しかった。(同時に、あまり宣伝されると灘まつりの自由さがなくなってしまうのではという懸念もあるようだ) SNS上でも灘まつりのスケジュールを知りたいと昨年度話題になっていたので、2017年度に使ってもらえるのではと思っている。また、野里も「もっと部数が欲しい」「商店主と顔をあわせることがないのでいい機会だった」と言ってくれていた。英語バージョンがあることで野里を散策する外国人旅行者が増えるのではないかと思う。

■ 事業概要

播州の秋祭りは現在、地元の人にしかわからないような進行表になっていて、観光客が内容(スケジュール等)を把握したくても難しい。それを解消するためにイラストや英語で発信することによって、さらに楽しんでもらえるような内容にしたかった。また野里は現在注目のエリアだが、情報源がバラバラだったり歴史寄りになっている案内が多かったのもっと気軽にきたいなと思える、若者にも訴求するようなデザインで発信することを心がけた。

■ 事業総括・感想

正直、こんなに時間がかかるとも思っていない作業だった、喜んでもらえたり、また実際にネットで外国人が「こんな情報がほしい！」と書き込みがあり、当初まだできていなかったため、個別に案内を書き込んだりしていたのだが、秋祭り英語HPと野里マップができたことによって、よりたくさんの方に姫路を楽しんでもらえるのではと思う。ちなみにマップは本当に細かい作業と店主の空き時間を狙うのが大変だった。



地域マネジメントモデル事業「城の西～水ものがたり」

実施団体 NPO法人 スローソサエティ協会
 市の協働部署 下水道局 河川部 河川整備課、水道局 総務課
 市民局 市民参画部 市民活動推進課

■ 事業の目的

風土記の丘が点在する<城の西>は、西国街道の要衝の地として古くから商業や文教の地として栄えたが、それは同時に、市川水系～船場川と夢前川水系～水尾川と挟まれて水に恵まれた<水のまち>の利水・治水の歴史でもあった。そこで、このエリアの<水ものがたり>を風土記の伝説に遡り、近現代に至るまで見直し発掘し啓発することで、将来的に職・住・育・遊が近接するモデルタウン<城の西>へとつながっていくよう、地域資源の紡ぎ直しを行う。

■ 期待される効果又は達成目標

水という視点から、城の西に埋もれていた歴史や、埋もれかけようとしていた歴史を掘り起こし今を生きる人達に五感を使って知ってもらい、文化の継承の機会を提供した。参加したそれぞれが語り部として次につなげてくれることを期待しつつ、今回参加していない人達にも伝え残すために冊子として作成し、弊協会ホームページから無料ダウンロードできるカタチで幅広く情報をオープンにし、姫路市の城の西を発信し続けている。この手法はさまざまな視点から、どこの町でも実施することができるモデルケースとなる創り方をしているので、姫路市内、市外を問わず町の活性化として実施できるものである。

■ 事業概要

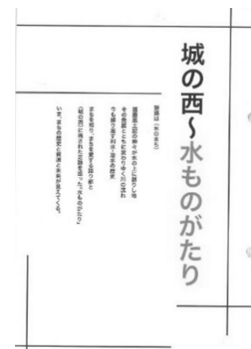
「城の西～水ものがたり」と題し、地域の歴史や風土に詳しい専門家とのまち歩きを通じて、水のまちをアタマとカラダの両面から理解し体感する。

●第1章「まちのすがたを知る」 ●第2章「見える水・見えない水～むかし いま～」

最終的に報告冊子にまとめた。また、ホームページから冊子をダウンロードできることで広く市民や関係者との共有知とした。

■ 事業総括・感想

船場川と夢前川とにはさまれた<城の西>エリアを舞台に、大地の隆起と侵食・堆積の物語から説き起こし、古代風土記の湿原に浮かぶ十四の丘の言い伝え、今なお信仰を集める中世の「水」と「火」の神々、近代の豊かな「水」を生かした舟運や染色・醸造産業、そして現代の治水と利水の工学までたどる、水を切り口にした壮大な「水ものがたり」を描いたスケールの大きな事業となった。地域の5人の賢人の記憶と智慧を記録に残せたことは、次の時代への大きなレガシーとなった。また、市の部署との協働や連携は、行政財産とその活用管理についての市民への啓発にもつながった。今後は、「丘ものがたり」や「聞き書き」による地域の記憶の伝承へと発展させたい。



みんなで踊ろう！ダンスのW A！

実施団体 播州ストリートダンス協会
市の協働部署 健康福祉局 保健福祉部 障害福祉課

■ 事業の目的

ハンディキャップのある子供達と触れ合う機会が少ない、ハンディキャップのある子供達の習い事をする場が少なく、民間での習い事をする場がない（健常者の中への希望が多い）、ハンディキャップのある子供達が健常者との発表会の場がないという現状を改善すべく、民間での習い事、またそれについての発表の場をつくる、発表会や体験会を開催することにより、ハンディキャップを持つ子供達と交流する場をつくるために事業を行う。

■ 期待される効果又は達成目標

この事業を開催することにより、障がい者への理解も広がり、また障がい者の住みよい環境につながる。今までに開催しなかったハンディキャップのある子供達のワークショップ、他ジャンルとコラボすることにより、新たな活動の広がりや希望が芽生えてきた。

障がい者も健常者と同じように地域のイベントやお祭りや催し物に分け隔てなく参加できる環境が必要であり、参加者全員が平等であるべきで“かべ”を取り払い、障がい者だからと特別扱いせず誰もが平等に分け隔てのないイベントやお祭りがあれば本当の意味での人間関係ができるのではないかと思う。

■ 事業概要

- ・8月に体験会を開催後、ハンディキャップのある子供達と音楽を使ったパフォーマンスのワークショップを開催。（以前から実施してきたダンスと他のジャンルのスポーツパフォーマーとのコラボで、よりたくさんの人に興味を持ってもらい、より広く交流する機会をつくる。）
- ・3月にこれらのプロモーション及び発表会、交流会を開催。

（ハンディキャップのある子供達、またすでに他地域でハンディキャップのある子供達でダンスをしている子供達も参加してもらい交流する。）

*3月のヴィジョンストリートダンスには他の地域で頑張っている障がい者のダンスチームを招き演技発表や交流をする。

■ 事業総括・感想

初めはなかなか打ち解けることができなかつた方々が、回を追うごとに打ち解け、また明らかに笑顔が増えていくのが見えた。

保護者の方の話聞いても、どんどん外へ出ていくようになった、などと喜ばれていた。

以前には障がい者のためのイベントには参加していたが、健常者の中に入って行くことがダンスというツールで容易にできた。

また、他地域の障がい者の方々ともダンスを通じて交流できたことも、今までになかつた笑顔が見れたかと思う。

地域協働による公園や広場的空間の整備・運営事業「城の西パークマネジメント」

実施団体 城の西パークマネジメント協議会
市の協働部署 建設局 公園部 公園整備課

■ 事業の目的

「地域課題解決する場」として公園や広場を捉えなおし、パークマネジメントの手法を用いて既存の資源も生かしながら地域協働による整備や運営活動を行い、公園愛護会等に代わる新たな管理運営モデルを構築する。公園広場の清掃等管理、青少年の地域との関わり、災害時の避難場所、地域組織の高齢化に伴う行政のコスト増加などの地域課題の統合的解決へとつなげる。

■ 期待される効果又は達成目標

公園や広場など公共的な空間において、日常的な利用の促進、植栽等環境整備への住民参画、草の根スポーツの振興などが進むことで、世代間交流の場づくり、資源の循環、清掃管理負担の軽減など地域課題を解決する場として公園や広場の利用が活発化し、新しい公園管理の実践的なかたちが見えてきた。また、みどりの景観を意識した市民の暮らしの提案と実践を進めるきっかけづくりにもなった。

今回作成した「みどりのマネジメントガイドブック」をもとに、市民がまちのみどりや景観に関心を抱き、なぜここにこの木を植えたのか、この木が成長すればどうなるのかなど、まちの景観デザインや機能についてかかわりや話し合う場と機会を生み、少子高齢化社会がもたらす地域の課題を公園・広場の活用により住民が解決していくための手引きとして活用し実践していく。

■ 事業概要

・城の西いのちめぐりプロジェクト

「落ち葉」や「刈草」を堆積した腐葉土をつくり、公園内の花壇に還元。公園や広場にあるどんぐりを発芽させ、苗木を山に戻し、成木の更新と斜面の崩れを防ぐ。

ヒマワリやクローバーを栽培し、花壇の土壌改良に取り組む。

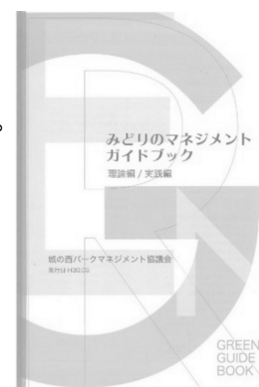
・地域スポーツプロジェクト

自治会と子ども会の連携による輪投げやグラウンドゴルフ練習会の開催

・三浦豊さんと歩くまちの森

地域の中にある森や木々に目を向け、みどりや景観を意識を持つきっかけづくり

・みどりのマネジメントガイドブック作成



■ 事業総括・感想

集めた落ち葉をゴミとせず堆肥化したり、お年寄りが指導者として子どもたちと地域スポーツを楽しんだり、公園や花壇のお世話に少し専門的な知見を取り入れるだけで、従来の公園管理活動の人的・金銭的負担が減る。また地域にある（まちの森）を知ることによって一人一人が「みどりを観る目」を手に入れる、そんなみどりを通した都市の魅力づくりを実現していきたい。

親子で楽しく学ぶ『ワクワク防災スクール』～まずは自助からはじめよう～

実施団体 ひめじキッズスマイル
市の協働部署 市長公室危機管理室

■ 事業の目的

- ・災害リスクについて知り、対策の必要性を感じ実行に移す「きっかけ」作りとサポート
- ・“自分の命は自分で守る”＝「自助」意識の向上
- ・各家庭での災害対策の推進
- ・“地域防災力”の必要性の啓発
- ・何事もなく過ごせる日常に「感謝」する気持ちを育む



■ 期待される効果又は達成目標

参加者様より「防災グッズを買いました。」「家族で災害情報にアンテナを張るようになりました。」「私も応急手当普及員を取りました。」など、嬉しいお声を多数いただき、災害対策について考える「きっかけ」を提供し、「各家庭での災害対策が実行に移され、姫路の地域防災力の向上へとつなげる」お手伝いができたのではと思っております。

被災体験に基づき、災害が起こるとはどういうことか？リアルをお伝えすると共に、「楽しくわかりやすく 具体的に」学べる防災講座の更なるブラッシュアップを実施

「楽しみながら 記憶に残る」防災ゲームの作成と実施

今年度は小学生親子を対象として行いましたが、対象学年を精査して、また子育て中の母親など、対象を広げての防災講座の実施

自主防災組織等との連携

■ 事業概要

11/5（日）第1回目防災イベント「おかしで防災リュックを作ろう！」60名参加

1/5（金）第2回目防災イベント「こども向け防災講座（姫路市危機管理室）＋『我が家の非常持ち出し袋&備蓄品チェックリスト』を作ろう！」53名参加

3/11（日）第3回目防災イベント「おかし開き&災害対応ゲーム『クロスロード』」53名参加

■ 事業総括・感想

無料の防災講座も多い中、私どもの様な無名の団体が、1回目のみ材料費とはいえ、1,500円をいただき、お忙しい小学生親子に原則全3回のシリーズでのご参加をお願いするなど、ややハードルを高くして臨んだ本事業。どれくらい参加者が集まってくださるか？内心大変不安だったのですが、毎回多くのご家庭にご参加いただけ（時節柄、インフルエンザ等で急遽お休みされる親子が多かったのは残念でした。）これほど多くの親子が防災に対して興味関心を持ってくださっていることに驚くと共に大変うれしく思いました。

みなさん、「災害のリスクを知らなかった」、「具体的にどう対策したらよいのかわからなかった」などと言われていて、この様な講座のニーズがあることの確信を持つことができました。今後も防災講座の更なるブラッシュアップと実施を継続していきたいと思っております。

英語観光ボランティアガイド活動育成について

実施団体 アイガイドナビグループ
市の協働部署 観光交流局 観光文化部 MICE 推進課、観光振興課

■ 事業の目的

訪姫外国人取扱人数を増やすこと、また当会員の質の向上を計るため

■ 期待される効果又は達成目標

1. 高学歴で子育てを終えた方や退職されてその経験を活用していただいている会員ガイド（市民）に対して自己目標を仲間と共に実現させることによって社会貢献の自己啓発を維持するためのモチベーション効果。

2. 増加する訪姫外国人旅行者に対しHPの活用、ガイドの現地講習をすることで共に利便性を高め、姫路に対する知識、興味を深め、滞在時間、滞在消費を増加させるべく訪姫外国人旅行者取扱数増加を目標とする。

■ 事業概要

- 会員へのホームページ取扱い方法の講習
- 姫路城・好古園及び書写山への現地講習
- 商店街への誘客を目指し商店街側からの講習

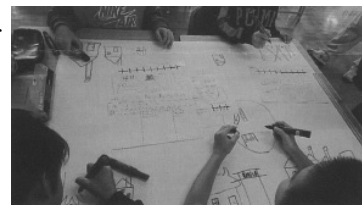
■ 事業総括・感想

充実した一年となった。本年度は昨年度の実績を糧としてより一層、努力していきたい。



わがまち太市の未来予想図

実施団体 特定非営利活動法人 姫路コンベンションサポート
市の協働部署 都市局 まちづくり推進部 都市計画課
都市拠点整備本部 鉄道駅周辺整備室



■ 事業の目的

現在、太市というまちを次の世代に受け継ぐために、子どもたちや女性の声を取り入れることは不可欠だと考える。自分たちの住むまちがどんな町になったらいいか、私たちは彼らの声に耳を傾け、まちづくりに反映させるため、太市小学校と連携し、小学5年生（16名）を対象に「私たちのまち太市」を考え、次のまちづくりへの提言とすることを目的に開催した。

■ 期待される効果又は達成目標

今回の事業では、子どもたちは大人が考える以上に自分たちの住んでいる町に愛着を持ち、未来について真剣に考えていることが分かった。子どもたちのインタビューや発表を通して、「まちづくり」に対する大人、特に子どもたちの保護者世代の意識に変化をもたらすことが出来たと考える。

限られた住民で取り組む「まちづくり」ではなく、他世代、特に次の未来を担う子どもたちを巻き込んだ活動をするため、小学校、自治会などと連携し、地域住民全体でまちづくりを行えるよう協力していきたい。

■ 事業概要

・事前学習（インタビュー）

家族や地域の人に「太市のいいところ」についてインタビューする。

・ワークショップ（全3回）

インタビューをもとに、「こうなったらいいと思う太市」「未来に残したい太市」に仕分け、個人、グループの未来予想図を作る。未来予想図に描かれたことをもとに、遊びの中でも太市のことが考えられるよう双六にする。

■ 事業総括・感想

子どもたちは、豊かな自然や歴史遺産に囲まれ、地域の人々の顔が見える生活環境に安心感を感じており、これから先も残していきたいという思いが、大人以上に強くあることがわかった。

「とかいなか」をキーワードに、現状を維持しながらも今より少し便利で生活しやすい住みよい町になるよう、学校、地域住民、自治会などと連携し、今後もまちづくりの活動をしていきたいと考える。



総合的な学習の時間を活用した地域のネットワークづくり事業

実施団体	納屋工房コミュニティスペース
市の協働部署	市民局 市民参画部 市民活動推進課、市立手柄小学校、手柄山交流ステーション、市立手柄公民館、姫路市中央卸売市場
協力機関	姫路市まちづくり振興機構

■ 事業の目的

地域の小学校と自治会が、授業プログラムを通して交流を図るとともに、それぞれの立場において見つけることのできる地域の魅力を共有することで、地域への愛着を育み、地域コミュニティと関りを強くし、将来的には地域の担い手となるような地域との絆を育成する。



■ 期待される効果又は達成目標

30 時間に及ぶ授業参加によって、サポーターと児童の多様な交流が起こり、大人と子ども双方にとって地域の魅力を発見する機会となった。活動を通してサポーターは子どもから学ぶことが多かったというアンケート結果が出ており、児童は「地域の再発見になった。」「サポーターの〇〇さんのようになりたい。」という感想もあり、知識の習得だけでなく人間的な成長に大きく寄与したことがわかった。卒業式では校長および PTA 会長がプロジェクトに触れ、「貴重な体験と見つけた地域の魅力を大切に」と語られた。

今回は協働事業であったため、義務教育授業下においてこのような実験的プロジェクトが可能となった。地域も学校も手探りであったが、価値の高い交流・教育プログラムであったとの評価をいただいた。今後、同様の地域と学校の交流プログラムを実施するには、学校だけでなく教育委員会などがコーディネーターを派遣するなどの新しい仕組みが必要不可欠である。

■ 事業概要

主に手柄地域にお住いの有志の方が、教員をサポートする「サポーター」となり、手柄小学校 6 年生の総合的な学習の時間において、児童らとともに地域の魅力を発掘するプロジェクト。2 学期の毎週金曜日の 4・5 時間目（14 時～15 時半）の授業にできるだけ参加いただき、児童によりそい、見守りながら、ともに地域の魅力を探し、その結果をクラスごとに「かるた」にまとめた。

■ 事業総括・感想

地域・学校ともに事業に共感いただき、スムーズなプロジェクト運営ができた。児童の反応に応じて授業内容は計画とは大きく異なったが、その変更に対応することが必要となると感じた。経費は、文房具等は学校にあるものを活用できることが多く、外部講師謝金・交通費、サポーター配布資料、授業の事前準備費にとどまった。各方面に効果をもたらすプロジェクトであり、今後も実施していくべきかと考えるが、今回のように毎回伴走しながらのコーディネーターは必ずしも毎年必要なものでもなく、教員のニーズや経験に合わせたサポートやコーディネートが可能であると感じる。

観光レンタサイクル事業

実施団体 特定非営利活動法人 あぼしまちコミュニケーション
市の協働部署 都市局 交通計画室、環境局 美化部 エコパークあぼし

■ 事業の目的

姫路市の観光レンタサイクルを活用し、いにしえより栄えてきた網干の町並み、周辺に広がる神社仏閣などの歴史遺産を巡り、観光客に回遊性を高め、地域の活性化に寄与する。

■ 期待される効果又は達成目標

- ① 施設を訪れる観光客の利便性、回遊性の向上
- ② 網干エリアでの滞在時間の拡大
- ③ 各施設への訪問客の増加
- ④ 自動車から自転車への移動手段の転換による健康増進や環境の改善

以上、4点の効果を期待しています。

日常的に観光レンタサイクルを利用して頂けるようPRを行い、自転車の台数も徐々に増やし利用者の増に繋げていきます。

■ 事業概要

網干地区のあぼしまち交流館とエコパークあぼしに観光レンタサイクルステーションを配置し、観光レンタサイクルの無料貸出しを行います。利用状況や利用者の意見を参考に当地域にあった最良の方法を見出し、今後に繋げていきます。

■ 事業総括・感想

観光レンタサイクル事業の性格上、地元以外の方々にもPRできるように、マス媒体や網干かき祭りにおいてご協力いただいた山陽電気鉄道にもご協力いただこうと働きかけています。

これから、観光で網干をめぐるいただくには良い季節となってきたので、行政の方々や地元自治会と共に観光客の誘致に向けた広報PRを探っていきたいと思っています。



～認知症になっても地域で暮らせるために～地域の中で支え合う仕組みづくり推進事業

実施団体 特定非営利活動法人 はなのいえ
市の協働部署 健康福祉局 長寿社会支援部 地域包括支援課

■ 事業の目的

地域でお年寄りを支える仕組みづくりに向けて本格的に動き出さなければいけない状況である。昨年度、徘徊模擬訓練を姫路市で実施するためのモデルとなるよう徘徊模擬訓練を実施し、その訓練の運営方法をDVDにまとめた。具体的な運営方法がわかる内容になっており、これを元に各機関や団体、企業が徘徊模擬訓練を実施し、地域で支え合う仕組みづくりがさらに広がることを目的とする。また同時に地域サロンの普及啓発も継続していく。

■ 期待される効果又は達成目標

セミナーでハードルを下げながら活動していくことの大切さを伝えることで、色々な所でこの活動が増えてきた。また、各地域からも「どうしたらいいか」等の声が広がってきた。居場所としてのサロンも増え、サロン交流会を行ったことで現状の課題なども明確にすることができた。

■ 事業概要

【地域包括との協働】DVDの内容をもとに徘徊模擬訓練と認知症サポーター養成講座・地域で徘徊模擬訓練の実施

【CSR活動に意欲的な企業へ働きかけ】徘徊模擬訓練の実施で、地域の企業の理解を増やし、SOSネットワーク等への参加を促進した。

【地域サロン（地域の居場所づくり）の普及啓発】立ち上げ希望者等への相談サポート・情報交換ができる機会づくり

■ 事業総括・感想

市内では、「声掛け模擬訓練」がほぼ行われていなかったことで、各地域包括でもどのように実施すればよいかわからない状況だったが、セミナーを通して「自分たちの周りでやってみる」「少しずつ範囲を広げる」など、ハードルを下げながら活動していくことの大切さを伝えると、やる気になり、いろいろな所でこの活動が増えるようになった。

このことで地域もやる気になり、各地域からも「どうしたらいいか」などの声が広がり、全体的な意識が高まってきたように感じる。また、居場所としてのサロンも増え、サロン交流会を行ったことで現状の課題なども把握できた。唯一、今年度は企業に対しての取組があまり進まなかったため、次年度への宿題になったと思っている。今後、今年度取り組んだことをきっかけにさらに地域へと広げていく活動を行い、地域に暮らす認知症の方々の見守りが当たり前になっていくことを希望します。また、同時に居場所としてのサロンも歩いて行ける場所にてできることで、地域の中で「お互い様」で暮らしていける地域づくりが構築されることを望んでいます。

不登校・ひきこもりに関する支援ネットワークマップ作成事業

実施団体 認定特定非営利活動法人コムサロン21
市の協働部署 健康福祉局 生活援護室（くらしと仕事の相談窓口）、保健所健康課
産業局 商工労働部 労働政策課
教育委員会 学校教育部 総合教育センター（育成支援課）

■ 事業の目的

子どもの貧困、児童虐待、いじめ、不登校等の問題は相互に影響し合い複合性、複雑性を有している。1つの相談窓口では解決困難なケースが多々あり、支援機関同士の密な連携が求められる。本事業では、まず連携を可視化する為の支援マップを作成し、姫路市の不登校ひきこもり支援に寄与する事を目的とする。

■ 期待される効果又は達成目標

- ・組織だった繋がりが今までない中、お互いを知る事ができた。・積極的な発言で理解が深まった。
- ・関係機関が見える形になった。・他機関と顔の見える関係になれた。・「姫路市地域見守り推進会議」で事例発表の機会をいただき、市役所幹部の方に周知できた。・相談機関のやり取りが増えた。今後は、既存ネットワークの維持に努め、新たなネットワークの構築と拡大を目指すとともに支援マップのデジタル化を検討していく。

横断的なネットワークを形成し、将来的には子ども若者支援のみならず、他支援部門での事業モデルとなれるように、ノウハウの共有を目指す。

■ 事業概要

ニート・ひきこもり等の若者に対し適切な支援を提供できるように連携を図ってきたが、同じ支援者でも使用する言語の違い、考え方の違い等により具体的な連携に至らず、「連携」という言葉だけが先行していた。今日の相談者の抱える課題は、複合性・複雑性を有しより困難な状況に陥いるケースが多く、個々の相談支援現場でも限界を感じている。これまで培ったネットワークでは解決が難しい問題も多く、これまでよりさらに進化したネットワークの構築の必要に迫られていたため、課題を感じている支援者や相談機関等が集まり課題解決を協議し、本事業を通じて支援者同士が「話し合うプロセス」を経て「支援ネットワークマップ作成」を行った。

■ 事業総括・感想

以前から本企画の案が出ていたが、資金調達の面で頓挫していた。本事業により達成できたことを大変嬉しく思う。連絡会議は、多くの方のご協力をいただき、意見を可視化する事でお互いの強みや実施している支援を詳しく知る事ができた。成果物として「冊子」が完成したが、本当に得たものは「ネットワーク」だった。顔の見える関係を各機関の担当者が構築できた。姫路市の対人援助者のレベルアップと、今まで以上に市民の皆さまが相談しやすい環境へと整備されることと期待する。

地域資源を整備し、揖保川に再びホタルを飛ばそう

実施団体 余部地区環境を守る会
市の協働部署 市長公室 企画政策推進室

■ 事業の目的

揖保川は、昔はホタルが飛ぶ自然豊かな清流であったが、高度成長時に流れが汚染され、ホタルが生息しなくなった。現在は以前の清流に戻っており、ここにホタルが再び飛ぶ環境づくりを住民の手で実施し、ホタルの産卵から幼虫の放流をする。

■ 期待される効果又は達成目標

資源の整備を通じて住民に地域環境の大切さを感じてもらえることができる。ホタルの飼育過程において特に子どもたちにホタルについて興味を持ってもらうことが出来た（特に飼育器の水の交換、幼虫のエサのカワナナの投入時）

地域の環境について、住民による行動によって住民の絆を強めることを図る。地域資源や環境の大切さ、自然に対するやさしい生活スタイルについて考える場を提供したい。

■ 事業概要

ホタルの捕獲、産卵、ふ化、幼虫の飼育、放流を住民の手で行う。そのためホタルの幼虫の放流ができる様に揖保川の河畔の整備をし、ホタルの生息できる環境づくりをする。

■ 事業総括・感想

揖保川三川分派地区環境を守る会

整備事業を通して行政の後援の必要性が感じられた。

みずすましグループ

地域の世代交流の大切さが感じられた。



姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト

実施団体 姫路ジャコウアゲハ倶楽部

市の協働部署 市長公室 企画政策推進室、都市拠点整備本部 姫路駅周辺整備室

■ 事業の目的

姫路市蝶のジャコウアゲハの幼虫の食草ウマノスズクサの増殖に取り組み、小学校とその自治会や事業所、団体の協力のもとにその自生地を保護してジャコウアゲハが生息できる環境を整備し、その成果を後世に伝えていくと共に、姫路市の文化の発展に寄与できるようにする。

■ 期待される効果又は達成目標

飼育している中で、幼虫の食草が足りなくなった時に上級生に相談したり、他の学校のお友達に相談するようになった。城北小学校では3年生から6年生の有志の児童が体育館に一同に集まり、合同会議も開き、その結果、私にSOSの電話がかかってきた。城北小学校のような活動が「平成29年度グリーンスクール」で優秀賞を受賞したのも私たちの喜びである。

今後の活動としては、単に校内の活動に留まらず、校区の自治会などの諸団体を巻き込んでの活動に繋げていきたいと思っている。幸いに今年度の取り組み校で、筋野小学校の校長先生がこの提案に賛同してくださり、地域の連合自治会長に相談したところ協力して下さることになった。このような縦と横のつながりを展開していく予定である。

■ 事業概要

次代の担い手である子どもたちに理科教育・教材として姫路市が取り組んでいる「生き物に学ぶ生物多様性プロジェクト～ジャコウアゲハを育てよう」の事業展開により、姫路市の歴史や文化また自然の素晴らしさを学習して自然環境保護の意識を養うと共に、生命の神秘と生命の尊さをこの体験によって考える機会を提供する。

■ 事業総括・感想

私たちは、ジャコウアゲハの飼育・観察を始めて約30年になるが、姫路市教育委員会と姫路市環境政策室、そして連絡協議会と連携する数年の活動を通じて大きな成果が出るようになった。この活動の横の繋がりを今後は小学校を中心に縦掘りを進めて自治会を中心に諸団体や事業所、また姫路市公園緑地課とともに連携した活動にしたいと思っている。そして校区の公園に成虫が蜜を吸うための吸・植物の花を植栽することでジャコウアゲハが市内で生息できる環境を整備する。



ジャコウアゲハで街づくりを考えませんか?

姫路ジャコウアゲハ倶楽部は、姫路市蝶のジャコウアゲハを通して姫路市を魅力溢れる街にするために活動しています。

姫路ジャコウアゲハ倶楽部の取り組み

1. 私たちは、ジャコウアゲハの幼虫の食草ウマノスズクサの増殖に取り組み、自治体や事業所、各種団体とその自生地を保護してジャコウアゲハが姫路市内の至る所で飛び交うことが出来る環境を整備します。
2. 次代の担い手である子どもたちへ、理科教育・教材としてジャコウアゲハの飼育・観察や専門講師による「ジャコウアゲハ出前教室」の事業を展開して郷土愛に繋がる人材を育てる場を提供します。
3. 特に小学生は、期前との関わりや体験を通して豊かな感受性や環境への見方・考え方を育み、皆と協力して問題を解決する為の実践力を培いながら自然や生命を多面的に感じ取る時期です。ジャコウアゲハを通して身近な自然の中で生命に触れる機会をつくり、私たちと共に学びます。
4. ジャコウアゲハの生態、幼虫の食草の育成によって得られた情報を持ち寄りまとめ、その成果や姫路市の自然環境、風土、歴史、文化を次世代に伝承するために多世代交流を通じて地域理解を促進する役割を果たします。
5. 色々なイベントを通してジャコウアゲハの魅力を伝え、姫路市の輝であることを広く発信すると同時に、一緒に活動をする仲間を募ります。

姫路ジャコウアゲハ倶楽部
URL: <http://jakouageha.com/> 事務局 三山 隆夫 Mitsuo Miyama
〒671-1104 姫路市広畑区才 885-1-405
Tel: 079-3613-2996 Fax: 079-222-3501
E-Mail: jakouageha.club@gmail.com
会長: 上田 倫範 Michinori Ueda

このウェブサイトは「姫路市環境影響評価委員会」の指定を受けて制作しています。

育て！「播州魂」～姫路の伝統文化 獅子舞とのふれあい～

実施団体 姫路城の北獅子の会
市の協働部署 市長公室 企画政策推進室

■ 事業の目的

日本文化の播州毛獅子と篠笛を姫路市の子どもたちを中心に大人を含めて、自分たちで考えながら新しいスタイルで作りに上げていく。「ふるさと姫路」の素晴らしい文化を再確認しながら、この活動を通して、親睦を深めていく。

■ 期待される効果又は達成目標

なかなか触れ合う事の出来ない、獅子舞と篠笛を実際に初めて観た方から、よく声をかけていただく。日本人として生まれてきたのに、日本文化を観たり、体験する機会が減っている中で意味を持つ活動であると思う。郷土愛こそが、姫路の発展の原点になると思う。今後は活動の継続を目指すとともに子どもの参加や披露の場を増やしていきたい。

■ 事業概要

今年度も有志を募り、毛獅子と篠笛を皆で作った。

二年目の取り組みとして、子ども用の軽い小型の毛獅子を作った。子ども用だが、本格的な仕上がりを目指して有志で手作りした。篠笛は大変時間がかかり、苦労したが、誰でも吹ける篠笛「ヒーロー笛」の作り方を島根県まで足を運び学び、手作りした。子どもから高齢者までが簡単に活動の中に参加できるようになった。夏休み期間の週末を中心にお稽古を重ね、「新しい播州毛獅子の親子の舞い」が出来上がった。

神社の竣工式、敬老会、国際交流フェスティバル、地域の祭典などに5回披露させていただいた。姫路市民のたくさんの方にご覧いただき、大変好評をいただいた。

今後も継続活動し、さらに稽古を重ね、素晴らしい日本文化の播州毛獅子と篠笛を姫路市の子どもたちを中心に大人を含めて、親睦を深めていきたいと思う。

■ 事業総括・感想

継続していくことが、今の一番の目標である。

人を集め、お世話をしていく事は大変だが、細く長く頑張っていきたいと考えている。

活動を通じて、改めて日本文化・姫路の文化を学ぶことができた。



姫路城下（船場・城西）江戸を歩く 明治を歩く

実施団体 特定非営利活動法人 歴史と出会うまちづくり船場城西の会
市の協働部署 市長公室 企画政策推進室

■ 事業の目的

当会やコンベンションビューロー発行の地図は地域内の江戸時代以降の現存する史蹟や寺院等を紹介している。ここでは江戸時代と明治時代に分け、現存していないもの（昔はこうだった）も含めた地域の歴史を紹介し、発信することにより、地域の魅力を高めていきたい。

■ 期待される効果又は達成目標

地域は江戸時代にはこうで、明治ではこのようになり、現在に至る。住民が歴史の変遷を知る事により、地域愛が一層高まる。住民、特に小中学生が知識として会得し、地域に思いをもって生活することで、地域の魅力がより高まり、しいては歴史地区の景観維持につながることを期待している。

今までにも数種類のマップを作ってきた。そのマップは地域の現状を知る、歴史を知る、魅力を伝える効果がある。このマップは地域内や観光ナビポートでも配布し、住民や市民の知識向上、観光客の誘導につなげる。これまで同様、マップはひとり歩きし、多くの人が姫路城下船場城西の歴史を知り、理解し、城下の魅力向上に寄与する。マップ片手の観光客がさらに船場城西を訪れることで活性化はもとより、住民のおもてなしの気持ちが高まると考えている。

■ 事業概要

世界文化遺産姫路城のバッファゾーン船場・城西地区を江戸時代と明治時代以降に分けて掘り下げる。姫路城との関わりでは江戸をイメージするが、地区内に残る町家は明治以降の建物が多数。地区内に残る形跡や言い伝え、記録、写真を探し集めて整理し、まちあるき地図としてまとめた。地図にはポイントを示し、はさみ込み資料にはそのポイントの昔懐かしの写真を掲載した。写真横にQRコードを置き、スマホをかざすとそのポイントへの道案内地図が画面に表示される成果物は観光案内としてはもちろん、地区内の小中学校の教材として、住民の知識向上やまち歩き資料として活用する。

■ 事業総括・感想

いつも楽しく活動している。進める過程ではアイデアが次々とあり、徐々に変化しながら形が作られていく。情報収集も著作権の使用許可も気持ちが通じ、終わってみれば何となく、納まっている。提案型協働事業は市民団体が提案し、それを行政の担当と同じ方向に向かって進めることに意義がある。今回は進捗の様子を報告することに終始し、前文のようにならなかったことが残念である。



船場川・船場川ビオトープの活用2017

実施団体 水上夢倶楽部
市の協働部署 市長公室 企画政策推進室

■ 事業の目的

水上校区の中央を流れる「船場川」「船場川ビオトープ」の生物調査、スケッチ大会、清掃活動を行い里川の環境について親子で考える機会をつくり、「灯りのまつり」「川の生き物スケッチ展示会 in 船場川」を企画、地域の方々や市内の老若男女たくさんの方々に足を運んでもらい「船場川」「船場川ビオトープ」を周知する。若い世代を取り込みながら地域を活性化させることを目的とする。



■ 期待される効果又は達成目標

地域環境資源の「船場川ビオトープ」において、川に集い楽しみながら環境について学び、生き物に触れ命の大切さを育む活動と、灯りのまつり「みずかみキャンドルナイト2017」を両立させることで、水上校区の活性化と世代間交流の実現。さらには、たくさんの姫路市民に感動を伝え、子ども達や若者に夢と希望を。また、様々な世代が協力して生まれる感動をたくさんの方々に分ち合えた。

「灯りのまつり」は、地域の方々のご協力を得ることで水上校区の方々にも浸透して、回を重ねるごとに参加者は増え、期待度は年々大きくなっている。今年は、姫路市民に向けて広く発信したところ、姫路市内各地から沢山の方に来て頂く事ができた。今後は、船場川流域のたくさんの団体との連携・繋がりを大事にして「灯りのまつり」を広めていく活動を実施していきたい。

■ 事業概要

- 1、里川にすむ生物調査をする。
- 2、川にすむ生き物を描く。
- 3、川の清掃活動をし、環境について考える。
- 4、キャンドルナイト2017企画運営
- 5、川の生き物スケッチ展示会 in 船場川

■ 事業総括・感想

船場川ビオトープという地域資源において、地域の皆さんと共に清掃活動・生物調査・スケッチ大会を行うことで、多世代での交流をしながら里川の環境について考える機会になった。さらに、灯りのまつりと川の生き物スケッチ展示会 in 船場川の実施により、地域の方々だけでなく沢山の姫路市民の方々に「船場川ビオトープ」という素敵な地域資源を実感して頂くことができた。今後は、船場川流域の方々と連携・協力・協働し、各地域それぞれの地域資源の魅力をより多くの方にとって・見て・楽しんで頂き、地域資源を大切に守り後世に受け継いでいきたい。

3

索引

- 実施団体別事業名索引
- テーマ別事業名索引

実施団体別事業名 索引（実施団体50音順・実施年度順）

団体名	年度	テーマ	事業名称	掲載頁
アイガイドナビグループ	29	自由	英語観光ボランティアガイド活動育成について	48
(特)あぼしまちコミュニケーション	29	自由	観光レンタサイクル事業	51
置塩城おもてなし隊	26	マラソン	夢街道 おもてなし事業	27
	27	自由	夢街道 おもてなし事業 2016	31
(特)おはなしくれよん	26	自由	子どもたちに語ろう 継ごう…『置塩城』	30
香寺歴史研究会	28	地縁	地域のかで地域史料を保全継承する	39
(特)コムサロン21	24	市民活動	若者市民活動担い手（リーダー）育成事業	15
(認定)コムサロン21	25	市民共治	NPO・自治会連携モデル事業	25
	26	地域コミュ	姫路城西エリア地域資源再発見プロジェクト	28
(認定)コムサロン21	29	自由	不登校・ひきこもりに関する支援ネットワークマップ作成事業	53
城の西パークマネジメント協議会	29	公園利用	地域協働による公園や広場的空間の整備・運営事業『城の西パークマネジメント』	46
(特)スローソサエティ協会	24	自由	駅周辺駐輪対策を通じた『まちづくり協働事業スタートアップモデル』構築事業	17
	25	市民共治	官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座とネットワーキング	23
	27	子ども	見えないものが見えてくる親子養成講座	37
	28	自由	地域マネジメントモデル事業『城の西～水ものがたり』	44
チームWeB	27	自由	障がいの理解と障がい者スポーツ啓発事業	38
(特)日本ハンス	27	観光	外国人観光客おもてなし英会話講座	36
納屋工房コミュニティスペース	29	自由	総合的な学習の時間を活用した地域のネットワークづくり事業	50
(特)野里まちづくりの会	25	城下町再生	“見て・歩いて・感じて”町家めぐり体験ツアー-in 野里街道	19
(特)ハッピーキッズひがし	27	自由	空いた園舎を活用した『地域社会福祉』の拠点づくり事業～『児童虐待防止』『認知症対策』に特化した子育て支援の地域活動～	33
HAPPY☆STYLE	25	自由	ママの働き方応援隊 HAPPY☆プロジェクト～3S～	21
	26	自由	赤ちゃん先生プロジェクト	26
(特)はなのいえ	24	自由	地域再生プロジェクト	13
	25	自由	地域サロン ネットワーク作り	22
	26	自由	出前サロン講座と運営者のネットワーク作りとサポート	29
	27	自由	『地域の支え合い体制』の基盤づくり事業	32
	28	自由	認知症になっても地域で暮らせるために、地域の中で支え合う仕組みづくり	41
	29	自由	～認知症になっても地域で暮らせるために～ 地域の中で支え合う仕組みづくり推進事業	52
B.S.D.A 播州ストリートダンス協会	27	文化	ヴィジョンストリートダンスコンテスト 2016	34
播州ストリートダンス協会	28	自由	みんなで踊ろう！ダンスは心にも体にもいい	40
	29	自由	みんなで踊ろう！ダンスのWA！	45
姫路駅前広場活用協議会	25	自由	『自転車ですべて楽しいまちづくり』 スタートアップ事業	24
姫路おかんプロジェクト	28	自由	防災意識向上イベント	42
ひめじキッズスマイル	29	自由	親子で楽しく学ぶ『ワクワク防災スクール』 ～まずは自助から始めよう～	47
姫路古武道連盟	24	自由	姫路藩に伝わる伝統武道の伝承 心豊かな人づくり	16
(特)姫路コンベンションサポート	29	自由	わがまち太市の未来予想図	49

団体名	年度	テーマ	事業名称	掲載頁
姫路城の北獅子の会	29	地域資源	育て！『播州魂』 ～姫路の伝統文化 獅子舞とのふれあい～	56
姫路ジャコウアゲハ倶楽部	29	地域資源	姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	55
ひめじ手づくりてんこもり市実行委員会	24	まちなか	ひめじみやげプロジェクト	14
	28	姫路城	姫路のおもしろいをてんこもり！ ～野里地区と秋祭りを世界へ発信～	43
水上夢倶楽部	29	地域資源	船場川・船場川ピオトープの活用 2017	58
妻鹿「軍師・官兵衛」観光推進委員会	25	観光の推進	妻鹿『軍師・官兵衛』観光推進事業	20
MOA美術館姫路児童作品展実行委員会	24	自由	MOA美術館児童作品展	18
八幡小学校120周年記念事業委員会	24	自由	美しい夢前川と安全な通学路を子どもたちに！	12
余部地区環境を守る会	29	地域資源	地域資源を整備し、揖保川にホテルを飛ばそう	54
(特)歴史と出会えるまちづくり船場城西の会	27	観光	姫路城グランドオープン記念 姫路城からの帰り道、寄り道マップ（城南・船場・城西）とまちあるき	35
	29	地域資源	姫路城下（船場・城西）江戸を歩く 明治を歩く	57

テーマ別事業名 索引（テーマ順・事業名50音順）

テーマ	事業名称	団体名	年度	掲載頁
市民活動	若者市民活動担い手（リーダー）育成事業	(特)コムサロン21	24	15
市民共治	NPO・自治会連携モデル事業	(認定)コムサロン21	25	25
市民共治	官民連携のための実践型まちづくり人材養成講座とネットワーキング	(特)スローソサエティ協会	25	23
城下町再生	“見て・歩いて・感じて” 町家めぐり体験ツアー in 野里街道	(特)野里まちづくりの会	25	19
地域コミュ	姫路城西エリア地域資源再発見プロジェクト	(認定)コムサロン21	26	28
地域資源	船場川・船場川ピオトープの活用	水上夢倶楽部	29	58
地域資源	育て！『播州魂』 ～姫路の伝統文化 獅子舞とのふれあい～	姫路城の北獅子の会	29	56
地域資源	地域資源を整備し、揖保川にホテルを飛ばそう	余部地区環境を守る会	29	54
地域資源	姫路市蝶ジャコウアゲハプロジェクト	姫路ジャコウアゲハ倶楽部	29	55
地域資源	姫路城下（船場・城西）江戸を歩く 明治を歩く	(特)歴史と出会えるまちづくり船場城西の会	29	57
地縁	地域の方で地域史料を保存継承する	香寺歴史研究会	28	39
観光	外国人観光客おもてなし英会話講座	(特)日本ハンズ	27	36
観光	姫路城グランドオープン記念 姫路城からの帰り道、寄り道マップ（城南・船場・城西）とまちあるき	(特)歴史と出会えるまちづくり船場城西の会	27	35
観光の推進	妻鹿「軍師・官兵衛」観光推進事業	妻鹿「軍師・官兵衛」観光推進委員会	25	20
公園利用	地域協働による公園や広場の空間の整備・運営事業『城の西パークマネジメント』	城の西パークマネジメント協議会	29	46
子ども	見えないものが見えてくる親子養成講座	(特)スローソサエティ協会	27	37
姫路城	姫路のおもしろいをてんこもり！ ～野里地区と秋祭りを世界へ発信～	ひめじ手づくりてんこもり市実行委員会	28	43
文化	ヴィジョンストリートダンスコンテスト2016	B.S.D.A 播州ストリートダンス協会	27	34
まちなか	ひめじみやげプロジェクト	ひめじ手づくりてんこもり市実行委員会	24	14
マラソン	夢街道 おもてなし事業	置塩城おもてなし隊	26	27

テーマ	事業名称	提案団体	年度	掲載頁
自由	空いた園舎を活用した『地域社会福祉』の拠点づくり事業～『児童虐待防止』『認知症対策』に特化した子育て支援の地域活動～	(特)ハッピーキッズひがし	27	33
自由	赤ちゃん先生プロジェクト	HAPPY☆STYLE	26	26
自由	美しい夢前川と安全な通学路を子どもたちに！	八幡小学校120周年記念事業委員会	24	12
自由	英語観光ボランティアガイド活動育成について	アイガイドナビグループ	29	48
自由	駅周辺駐輪対策を通じた『まちづくり協働事業スタートアップモデル』構築事業	(特)スローソサエティ協会	24	17
自由	親子で楽しく学ぶ『ワクワク防災スクール』～まずは自助から始めよう～	ひめじキッズスマイル	29	47
自由	観光レンタサイクル事業	(特)あほしまちコミュニケーション	29	51
自由	子どもたちに語ろう 継ごう…『置塩城』	(特)おはなしくれよん	26	30
自由	障がいの理解と障がい者スポーツ啓発事業	チームWeB	27	38
自由	『自転車で走って楽しいまちづくり』スタートアップ事業	姫路駅前広場活用協議会	25	24
自由	総合的な学習の時間を活用した地域のネットワークづくり事業	納屋工房コミュニティスペース	29	50
自由	地域再生プロジェクト	(特)はなのいえ	24	13
自由	地域サロン ネットワーク作り	(特)はなのいえ	25	22
自由	『地域の支え合い体制』の基盤づくり事業	(特)はなのいえ	27	32
自由	地域マネジメントモデル事業『城の西～水ものがたり』	(特)スローソサエティ協会	28	44
自由	出前サロン講座と運営者のネットワーク作りとサポート	(特)はなのいえ	26	29
自由	～認知症になっても地域で暮らせるために～地域の中で支え合う仕組みづくり推進事業	(特)はなのいえ	29	52
自由	認知症になっても地域で暮らせるために、地域の中で支え合う仕組みづくり	(特)はなのいえ	28	41
自由	姫路藩に伝わる伝統武道の伝承 心豊かな人づくり	姫路古武道連盟	24	16
自由	不登校・ひきこもりに関する支援ネットワークマップ作成事業	(認定)コムサロン21	29	53
自由	防災意識向上イベント	姫路おかんプロジェクト	28	42
自由	ママの働き方応援隊 HAPPY☆プロジェクト～3S～	HAPPY☆STYLE	25	21
自由	みんなで踊ろう！ダンスのWA！	播州ストリートダンス協会	29	45
自由	みんなで踊ろう！ダンスは心にも体にもいい	播州ストリートダンス協会	28	40
自由	MOA美術館児童作品展	MOA美術館姫路児童作品展実行委員会	24	18
自由	夢街道 おもてなし事業 2016	置塩城おもてなし隊	27	31
自由	わがまち太市の未来予想図	(特)姫路コンベンションサポート	29	49

提案型協働事業事例集

平成31年3月発行

編集・発行

姫路市 市民局 市民参画部 市民活動推進課

姫路市安田四丁目1番地

電話 079-221-2737

FAX 079-221-2758

市民活動推進課ホームページ（姫路市公式ホームページ内）

<http://www.city.himeji.lg.jp/s30/2212737.html>

